

I 農 林 技 術 研 究 所

茶業研究センター

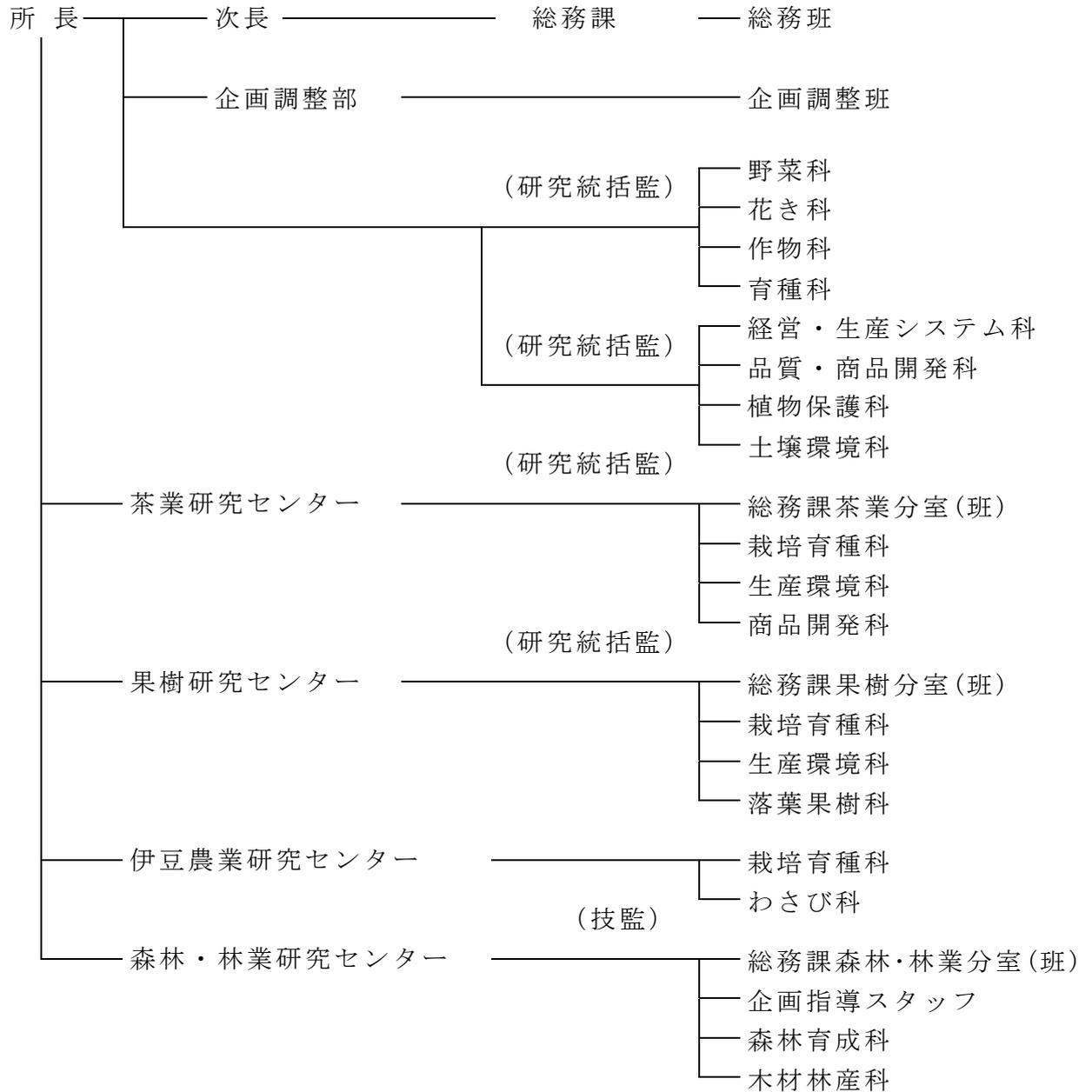
果樹研究センター

伊豆農業研究センター

森林・林業研究センター

I 農林技術研究所

1 試験研究組織



2 試験研究職員構成

区 分		事務 職員	技術職員		技能労務 職員	計
			研 究	行 政		
所長				1		1
次長		1				1
総務課	総務班	5 ②				5 ②
	研究統括監		2			2
企画調整部	部長		1			1
	専門監			1		1
	企画調整班	③		2	8 [2] ⑱	10 [2] ㉑
	野菜科		5			5
	花き科		4			4
	作物科		5			5
	育種科		4			4
	経営・生産システム科		4			4
	品質・商品開発科		4			4
	植物保護科		6			6
	土壌環境科		3	1 [1]		4 [1]
(本所)	計	6 ⑤	38	5 [1]	8 [2] ⑱	57 [3] ㉓
茶業研究センター	センター長			1		1
	研究統括監		1			1
	総務課茶業分室	3 ①			1 [1] ⑥	4 [1] ⑦
	栽培育種科		6			6
	生産環境科		5			5
	商品開発科		4	1 [1]		5 [1]
	計	3 ①	16	2 [1]	1 [1] ⑥	22 [2] ⑦
果樹研究センター	センター長		1			1
	研究統括監		1			1
	総務課果樹分室	3			⑤	3 ⑤
	栽培育種科		6			6
	生産環境科		5			5
	落葉果樹科		4		1 [1]	5 [1]
	計	3	17		1 [1] ⑤	21 [1] ⑤
伊豆農業研究センター	センター長		1			1
	栽培育種科	①	6		2 [1] ③	8 [1] ④
	わさび科	①	3		①	3 ②
	計	②	10		2 [1] ④	12 [1] ⑥
森林・林業研究センター	センター長			1		1
	技監			1		1
	総務課森林・林業分室	3			1 ②	4 ②
	企画指導スタッフ			1		1
	森林育成科		8			8
	木材林産科		5			5
	計	3	13	3	1 ②	20 ②
合 計		15 ⑧	94	10 [2]	13 [5] ⑳	132 [7] ㉔

(注) □ は再任用職員で内数、○は非常勤嘱託職員で外数。病虫害防除所は除く。

3 試験研究方針（平成26年度～平成29年度）

農林業を巡る環境

●社会経済情勢

- ・国際化の進展と新興国の経済発展
- ・少子高齢化による人口減少社会の進展
- ・ライフスタイルと価値観の多様化

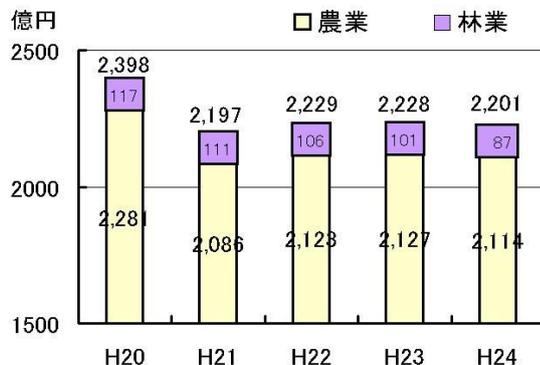
●流通・消費環境

- ・販売・流通形態の変化
- ・食の安全・安心への関心の高まり
- ・中食・外食など食の外部化の進展
- ・6次産業化による新商品開発の実施

●生産構造

- ・農業従事者の高齢化と担い手の減少
- ・耕作放棄地や荒廃森林の増加
- ・資材価格の上昇による農林家経営の悪化
- ・ICT、ロボット化の進展
- *農業生産に占めるビジネス経営体シェア
24.8% (H23)
- *森林組合等での施業・生産の集団化進展

<農林業産出額の推移（億円）>



●環境保全・省資源

- ・地球温暖化の進行
- ・茶草場の世界農業遺産登録
- ・再生可能な資源・エネルギー活用の必要性

農林業の振興方向

経済産業ビジョン（農業・農村編）

基本方向Ⅰ 「場の力」を活用した地域経済の活性化

- 1 人々を惹きつける都づくり
 - ・「食の都」、「茶の都」、「花の都」づくり
 - ・ふじのくにブランドの推進
- 2 ふじのくにブランドを活かした戦略的な海外展開
 - ・農林水産物の輸出促進
 - ・輸出に向けた産地の取組支援
- 3 6次産業化による高付加価値化の推進
 - ・支援体制の強化
 - ・事業者の取組への支援

基本方向Ⅱ 豊かさを支える農業の強化

- 1 攻めの農業を担うチャレンジ精神あふれる経営体の育成
 - ・ビジネス経営体の育成
 - ・企業参入の推進 等
- 2 優良農地の確保と集積等による農地の徹底活用
 - ・水田の有効利用 等
- 3 技術革新による生産力の飛躍的拡大
 - ・高品質化・省力化・低コスト化による生産性向上
 - ・新技術の開発と普及
 - ・優良品種の開発導入 等

基本方向Ⅲ 住んでよし訪れてよし豊かな農山村づくり

- 1 集落機能の維持・向上による農山村の再生
 - ・地域資源の保全と活用 等
- 2 快適な農山村の暮らしの実現
 - ・農山村における安全・安心の確保 等
- 3 都市農村交流の促進
 - ・農業の持つ多様な価値の活用 等

経済産業ビジョン（林業・木材産業編）

基本方向 豊かさを支える林業の強化

- 1 県産材の需要と供給の一体的な創造
 - ・県産材の需要拡大
 - ・県産材の安定供給体制の確立
 - ・ビジネス林業の展開

試験研究展開の基本方向

試験研究の推進方向

I 「場の力」を活用した地域経済の活性化

- 地域特産の農林産物の発掘・改良、これを素材とした商品や加工技術の開発
- 効果的な商品プロモーションを可能にする栽培技術の開発・高度化
- 機能性成分の高い農林産物の開発、加工品及び加工技術の開発
- 新たな需要を創造する加工適性に優れた農林産物の開発、加工技術の開発
- 耐久性や機能性に優れた県産木材・木質材料の開発

II 豊かさを支える農林業の強化

- 高収益を生む本県独自の高品質な品種や地球温暖化に適応した品種の育成
- 低コスト、省力技術を体系化した農林産物の高効率栽培管理技術の開発
- 地球温暖化に適応した栽培管理技術の開発
- 高品質な商品の流通を実現する生産・加工・流通段階での品質管理技術の開発
- 二毛作、輪作、耕畜連携等による農地の高度利用システムの開発
- 集積された農地を利用した収益性の高い農業経営モデルの開発
- 森林施業の集約化や路網整備等による効率的な林業経営モデルの開発

III 住んでよし訪れてよし豊かな農山村づくり

- 生態系の保全とバランスを取った病害虫防除技術の開発
- 省資源・省エネルギーで廃棄物を最小限に抑えた新時代のものづくり技術の開発
- エネルギーの地産地消に向けた再生可能エネルギーの利用技術の開発
- 農山村資源の公益的機能を有効活用した生産基盤の維持管理システムの開発
- 快適な森林・河川・内水面・海域等を形成する環境管理技術の開発
- 美しい景観形成のための花き、草木等の活用・管理技術の開発
- 野生鳥獣被害防止技術、適正な生態系を維持するための動植物の管理技術の開発

平成28年度 農林技術研究所（本所） 試験研究課題一覧

≪ 試験研究の推進方向 ≫

≪ 試験研究の推進方向 ≫

≪ 研究 課 題 ≫

「場の力」を活用した地域経済の活性化
[2 課題]

地域特産の農林産物の発掘・改良、これを素材とした商品や加工技術の開発
[2 課題]

高収益を生む本県独自の高品質な品種や地球温暖化に適応した品種の育成
[5 課題]

豊かさを支える農林業の強化
[16 課題]

低コスト、省力技術を体系化した農林産物の高効率栽培管理技術の開発
[7 課題]

地球温暖化に適応した栽培管理技術の開発
[2 課題]

高品質な商品の流通を実現する生産・加工・流通段階での品質管理技術の開発
[2 課題]

住んでよし訪れてよし豊かな農山村づくり [8 課題]

生態系の保全とバランスを取った病害虫防除技術の開発
[5 課題]

省資源・省エネルギーで廃棄物を最小限に抑えた新時代のものづくり技術の開発
[2 課題]

農山村資源の公益的機能を有効活用した生産基盤の維持管理システムの開発
[1 課題]

- 1 [成] 食の都しずおかの微生物を用いた新しい発酵食品ビジネスの創出(27-29) <共>
- 2 (新)[成] 健康長寿静岡の新たな機能性食品産業の創出(28-30) <共>
- 3 (新) 水稻の新品種育成(28-32)
- 4 (新) 省力・低コスト生産が可能な次世代に向けたイチゴ優良母本の育成(28-32)
- 5 香りを重視した温室メロンを育種するための選抜法の開発と育種素材の評価(24-28)
- 6 キクの新品種育成(24-28)
- 7 (新) 水稻・畑作物奨励品種決定試験(28-32)
- 8 イチゴ‘きらび香’の安定生産技術の確立(27-29)
- 9 [成] 高品質な大規模施設野菜生産を可能にする成育情報活用型スマートアグリシステムの開発(27-29) <共>
- 10 [成] タマネギ及びビレタス栽培の省力機械化システム実用化(26-28) <共>
- 11 (新) 小麦作の強害雑草ネズミギによる被害の把握とその防除技術の確立(28-31) <委> <共>
- 12 (新)[成] 無人航空機による樹園地の超省力・精密生産管理システムの開発(28-30)
- 13 (新) キウイフルーツ・ナシ安定生産のための花粉自給率向上に繋がる省力・低コスト花粉採取技術の開発(28-30) <委> <共>
- 14 農作物品種及び生産資材の比較、検定、調査(28) <受>
- 15 (新) トマトの周年生産における生理障害発生防止技術の確立(28-30) <委> <共>
- 16 (新) 夏冬を制する技術開発が花き経営の所得を増加させる(28-30) <委> <共>
- 17 (新) 本県特産花きの日持ち向上対策技術の確立(28-30) <共>
- 18 (新)[成] ふじのくに農水産物の品質・競争力向上と輸出拡大技術の開発(28-30) <委> <共>
- 19 蒸気処理防除機の活用による水田の病害虫・雑草等管理技術の確立(27-29) <共>
- 20 施設園芸作物における進化型 IPM を構成する要素技術の開発(26-28) <委> <共>
- 21 (新) 圃場の健康診断に対応したネギ病害虫予防的管理技術の開発(28-30) <委> <共>
- 22 (新) 難防除病害虫の防除効果安定化とイチゴ果実の輸出促進にむけた IPM 体系の確立(28-30) <委> <共>
- 23 新しい農薬の適応選抜(28) <受>
- 24 牛ふん堆肥ベースの新肥料および土壌中蓄積窒素の活用による効率的施肥管理技術の開発(27-31) <委> <共>
- 25 [成] 分散型エネルギー社会に貢献する小型メタン発酵プラントの開発(26-28) <共>
- 26 県内主要農耕地の土壌環境及び土壌炭素モニタリング調査(26-30) <委>

(新)：新規課題、[成]：新成長戦略研究、<委>：国庫委託、<助>：国庫補助、<交>：国庫交付金、<受>：受託事業、<共>：共同研究

平成28年度 農林技術研究所（茶業研究センター） 試験研究課題一覧

《試験研究の推進方向》 《試験研究の推進方向》 《 研 究 課 題 》



(新) : 新規課題、[成] : 新成長戦略研究、〈委〉 : 国庫委託、〈助〉 : 国庫補助、〈交〉 : 国庫交付金、〈受〉 : 受託事業、〈共〉 : 共同研究

平成28年度 農林技術研究所（果樹研究センター）試験研究課題一覧

《試験研究の展開の基本方向》

《試験研究の推進方向》

《 研究 課 題 》

「場の力」を活用した地域経済の活性化
[2 課題]

地域特産の農林産物の発掘・改良、これを素材とした商品や加工技術の開発
[1 課題]

機能性成分の高い農林産物の開発、加工品及び加工技術の開発
[1 課題]

豊かさを支える農林業の強化
[9 課題]

高収益を生む本県独自の高品質な品種や地球温暖化に適応した品種の育成
[3 課題]

低コスト、省力技術を体系化した農林産物の高効率栽培管理技術の開発
[4 課題]

高品質な商品の流通を実現する生産・加工・流通段階での品質管理技術の開発
[2 課題]

住んでよし訪れてよし豊かな農山村
[4 課題]

生態系の保全とバランスを取った病害虫防除技術の開発
[3 課題]

省資源・省エネルギーで廃棄物を最小限に抑えた新時代のものづくり技術の開発
[1 課題]

1 ブルーベリー、カキ、スモモウメ、イチジクの規模拡大に向けた生産性向上技術の開発(27-30) 〈委〉〈共〉

2 (新) [成] 健康長寿静岡の新たな機能性食品産業の創出(28-30)

3 (新) しずおかオリジナル果樹品種の育成と適応性検定(28-32) 〈委〉〈共〉

4 カンキツ経営を強化する県オリジナル品種・系統の安定生産技術の確立 (27-29)

5 カキ、キウイフルーツ育成新品種の利用法の開発(27-29) 〈委〉〈共〉

6 [成] 大規模みかん経営を目指した静岡方式垣根型成園化技術に関する研究(26-28) 〈共〉

7 (新) カンキツ新樹形における効率的な管理手法の開発(28-32) 〈委〉〈共〉

8 (新) [成] 無人航空機による樹園地の超省力・精密生産管理システムの開発(28-30)

9 (新) キウイフルーツ・ナシ安定生産のための花粉自給率向上に繋がる省力・低コスト花粉採取技術の開発(28-30) 〈委〉〈共〉

10 (新) [成] ふじのくに農水産物の品質・競争力向上と輸出拡大技術の開発(28-30)

11 (新) 温州ミカンの長期鮮度保持技術の実証(28-30) 〈委〉〈共〉

12 カンキツ園における生物多様性の機能を活用した害虫管理技術の開発(27-29)

13 キウイフルーツかいよう病新系統 Psa3 の対策技術の確立(27-29) 〈委〉〈共〉

14 生育調節及び病害虫防除等新資材の開発(28) 〈受〉

15 ヒトと環境に優しい柑橘における年1回施肥法の確立(26-28)

(新) : 新規課題、[成] : 新成長戦略研究、〈委〉 : 国庫委託、〈補〉 : 国庫補助、〈交〉 : 国庫交付金、〈受〉 : 受託事業、〈共〉 : 共同研究

平成28年度 農林技術研究所（伊豆農業研究センター） 試験研究課題一覧

《試験研究の基本方向》

《試験研究の推進方向》

《 研 究 課 題 》

「場の力」を活用した地域経済の活性化
[6 課題]

地域特産の農林産物の発掘・改良、これを素材とした商品や加工技術の開発
[2 課題]

ふじのくにブランドとして高収益を生む本県独自の高品質な品種や地球温暖化に適応した品種の育成
[4 課題]

- 1 カワヅザクラ等新規伊豆特産作物の生産技術の確立（26-28）
〈委〉〈共〉
- 2 (新) [成] 健康長寿静岡の新たな機能性食品産業の創出（28-30）
- 3 (新) 夏期の高温化に適応したカーネーション新品種の育成選抜と栽培技術の開発（28-32）
- 4 (新) マーガレット新品種育成と伊豆特産花きの生育特性の解明（28-32）〈受〉
- 5 (新) 伊豆の多様な販売形態に利用できる果樹品種の選抜（28-32）
- 6 (新) ワサビ新品種育成と系統選抜（28-32）〈委〉〈共〉

豊かさを支える農林業の強化
[2 課題]

地球温暖化に適応した栽培管理技術の開発
[2 課題]

- 7 ヒュウガナツ系新品種の導入と生産安定技術の体系化（27-29）
- 8 (新) ワサビ種苗の安定的生産供給体制の確立（28-30）

住んでよし訪れてよし豊かな農山村づくり
[1 課題]

生態系の保全とバランスを取った病害虫防除技術の開発
[1 課題]

- 9 農作物品種及び生産資材の比較、検定、調査(28) 〈受〉

(新)：新規課題、[成]：新成長戦略研究、〈委〉：国庫委託、〈補〉：国庫補助、
〈交〉：国庫交付金、〈受〉：受託事業、〈共〉：共同研究

平成28年度 農林技術研究所（森林・林業研究センター） 試験研究課題一覧

《試験研究展開の基本方向》

《試験研究の推進方向》

《 研 究 課 題 》

「場の力」を活用した
地域経済の活性化
[1課題]

耐久性や機能性に優れた県
産木材・木質材料の開発
[1課題]

1 [成] “森林の都” を実現する県産材の需要と供給の拡大のための技術開発(26-28) <委> <共>

豊かさを支える農林業
の強化
[4課題]

高収益を生む本県独自の高
品質な品種や地球温暖化に
適応した品種の育成
[2課題]

2 [成] 森林・林業再生を加速する静岡型エリートツリーによる次世代省力造林技術の開発(25-29)

3 (新) 新たな人工交配施設を活用した優良種子生産技術の開発(28-32) <委>

低コスト、省力技術を体系
化した農林産物の高効率栽
培管理技術の開発
[1課題]

4 環境の変化に対応したシイタケ等栽培技術の開発(24-28) <交>

森林施業の集約化や路網整
備等による効率的な林業経
営モデルの開発
[1課題]

5 (新) 効率的な皆伐等作業システムの構築(28-30) <交>

住んでよし訪れてよし
豊かな農山村
[4課題]

生態系の保全とバランスを
取った病害虫防除技術の開
発
[1課題]

6 シイタケ生産における原木・菌床栽培上及び原木林育成上の害虫対策に関する研究(25-29)

農山村資源の公益的機能を
有効活用した生産基盤の維
持管理システムの開発
[1課題]

7 津波に強い多機能海岸防災林に対応した苗木生産と造成管理の技術開発(26-30)

野生鳥獣被害防止技術、適
正な生態系を維持するため
の動植物の管理技術の開発
[2課題]

8 (新) シカ個体数削減過程で生じる捕獲効率低下の抑制に関する研究(28-32)

9 (新) 果樹園での加害獣判別と捕獲技術の確立およびイノシシの成獣捕獲技術の開発(28-30)

(新) : 新規課題、[成] : 新成長戦略研究、<委> : 国庫委託、<助> : 国庫補助、
<交> : 国庫交付金、<受> : 受託事業、<共> : 共同研究

4 平成28年度試験研究課題数

区 分		研究課題数 ^{注1,2)}		細目課題数	
			内新規		内新規
	野菜科	3	1	11	3
	花き科	2	2	4	4
	作物科	4	3	9	7
	育種科	3	1	7	2
	経営・生産システム科	4(2)	3(2)	12	4
	品質・商品開発科	2	1	4	2
	植物保護科	4	2	14	5
	土壌環境科	4	0	9	0
(本所)	計	26(3)	13(2)	70	27
茶業研究センター	裁培育種科	7(1)	3(1)	14	5
	生産環境科	8(2)	4(2)	20	8
	商品開発科	2	0	6	0
	計	17(3)	7(3)	40	13
果樹研究センター	裁培育種科	5(2)	4(2)	11	8
	生産環境科	7	2	16	5
	落葉果樹科	3	1	9	3
	計	15(2)	7(2)	36	16
伊豆農業研究センター	裁培育種科	7(1)	4(1)	17	8
	わさび科	2	2	6	6
	計	9(1)	6(1)	23	14
森林・林業研究センター	森林育成科	6	3	12	6
	木材林産科	3	1	7	2
	計	9	4	19	8
農林技術研究所全体		68[2]	29	188	83
平成27年度		63[2]	14[1]	166	39

※ 平成28年度新成長戦略研究課題数（内数）

区 分		研究課題数 ^{注1,2)}		細目課題数	
			内新規		内新規
	本所	7(1)[2]	3(1)	20	7
	茶業研究センター	4(3)	3(3)	7	4
	果樹研究センター	4(2)	3(2)	9	6
	伊豆農業研究センター	1(1)	1(1)	1	1
	森林・林業研究センター	2	0	4	0
農林技術研究所全体		11[2]	3	41	18
平成27年度		10[2]	2[1]	32	5

注1) ()は、1つの研究課題を本所及び研究センター共同で実施している場合の連携機関としての研究課題数で、内数で記載。

注2) []は、1つの研究課題を複数の研究所間で実施している場合の連携機関としての研究課題数で、内数で記載。

5 平成28年度試験研究課題編成表

(1) 本所

農林技術研究所(本所) No.1

部 門	試験研究展開の基本方向	試験研究課題名・細目課題名	研究期間	課 題 内 容 説 明	担 当	要望元	予算区分
農業一般 (野菜) (特選野菜)	「場の力」を活用した地域経済の活性化	1 食の都しずおかの微生物を用いた新しい発酵食品ビジネスの創出 〈共〉	(27-29)	本県の有用微生物を様々な産業で有効活用できる仕組みを構築する。	品質・商品開発科 (池ヶ谷篤、豊泉友康、神谷径明) 〈共〉 沼工技(主)、工技研、畜技研、水技研、環衛研、他	経済産業部	県単 (新成長)
		1-1 「食の都しずおか有用微生物ライブラリー」の構築〈共〉	27-29	・微生物の特性や利用法を明らかにしたライブラリーを構築するため、農産物等から乳酸菌や酵母を単離する。			
		1-2 消費者ニーズに対応した「食の都しずおか」発の新規発酵食品開発 〈共〉	27-29	・新規発酵食品の味や香りの特性を明らかにするため、適正な評価ができる検査員(味覚と嗅覚が正常)を選抜する。併せて、GC-MSによる香り成分の分析法を明らかにし、良好な風味に係わる“香り”を推定する。			
農業一般 (野菜) (特選野菜)	「場の力」を活用した地域経済の活性化	2 健康長寿静岡の新たな機能性食品産業の創出〈新〉〈共〉	(28-30)	本県食品関連産業を活性化し、「ふじのくに静岡の経済発展」と「健康増進」を推進するため、本県の豊かな農林水産物が持つ機能性を活かした研究を実施する。	品質・商品開発科(主) (神谷径明、大場聖司、豊泉友康) 〈共〉 工技研、畜技研、水技研、環衛研、他	経済産業部	県単 (新成長)
		2-1 本県農林水産物の機能性データベースの構築〈新〉〈共〉	28-30	・県の5研究機関の分野横断的な取り組みによって多様な農水産物の機能性情報を網羅したデータベースを構築する。			
		2-2 機能性表示制度を目指した商品開発〈新〉〈共〉	28-30	・農林水産物や加工品の高付加価値化、機能性表示制度を活用した新商品開発など「出口」を見据えた研究開発を行う。			
農業一般 (作物) (水稲)	豊かさを支える農林業の強化	3 水稲の新品種育成〈新〉	(28-32)	本県の気象・地域条件に適し地域特産ブランドとなりうる品種を育成する。	作物科 (外山祐介、宮田祐二)	中遠農林事務所他	県単
		3-1 酒造好適米品種等地域特産型品種の育成〈新〉	28-32	・酒造好適米等の地域産業や消費と密接に結びつき特産ブランド化が期待できる品種を育成する。			
		3-2 野菜後作に適し、高温登熟性に優れた品種の育成〈新〉	28-32	・水田の高度利用を可能にする野菜後作において高い栽培適性と高品質が両立する品種を育成する。			

〈新〉:新規課題 〈助〉:国庫補助 〈委〉:国庫委託 〈交〉:国庫交付金 〈受〉:受託 〈共〉:共同研究

部 門	試験研究展開の基本方向	試験研究課題名・細目課題名	研究期間	課 題 内 容 説 明	担 当	要望元	予算区分
農業一般 (野菜) (イチゴ)	豊かさを支える農林業の強化	4 省力・低コスト生産が可能な次世代に向けたイチゴ優良母本の育成<新>	(28-32)	省力・低コスト生産が可能な次世代に向けたイチゴ新品種の育成に向けた育種母本を育成する。	育種科 (河田智明) 野菜科 (井狩徹)	経済連	県単
		4-1 多様な育種母本を活用した優良母本の育成<新>	28-32	・自殖弱勢を排除するために、野茶研で育成中である循環選抜による育種母本等を活用し、その評価を行う。優良系統は交配親として使用し、‘きらび香’に強草勢、炭疽病抵抗性、等が付与された優良母本を育成する。			
		4-2 光合成能力の高い優良母本の育成<新>	28-30	・光合成能力が高いとされる原種である <i>F.chiloensis</i> を交配親として選抜した育成系統を使用し、超多収性を有する優良母本を育成する。			
農業一般 (野菜) (温室メロン)	豊かさを支える農林業の強化	5 香りを重視した温室メロンを育種するための選抜法の開発と育種素材の評価	(24-28)	温室メロンの香りや成熟度に関する果実形質の選抜方法を確立し、育種素材の評価をする。	育種科 (菊池佑弥、本間義之)	静岡県温室農業協同組合	県単
		5-1 F1親系統の特性評価	24-28	・香りの評価法を確立し、F1親系統の香り関連形質を評価する。			
		5-2 香り関連形質の遺伝性	27-28	・F1、F2世代における香り関連形質の遺伝性を確認する。			
農業一般 (花き) (キク)	豊かさを支える農林業の強化	6 キクの新品種育成	(24-28)	低温伸長性・開花性を有する輪ギクと耐暑性の強いスプレーギクのオリジナル品種を育成し、本県キク産地の市場性向上と経営安定を図る。	育種科 (寺田吉徳、本間義之)	JAとぴあ浜松	県単
		6-1 低温期の作型に適応した黄色輪ギクの品種育成	24-28	・交配育種により、低温伸長性を有し到花日数の短い静岡県独自の黄色輪ギク有望品種を育成する。			
		6-2 輪ギクの効率的育種法の開発	24-28	・輪ギクの交配育種を進めるために、遺伝資源の評価を行うとともに稔性の高い管状花の効率的増加方法を開発する。さらに育種技術向上のための幼苗選抜技術を開発する。			
		6-3 高温期の作型に適応したスプレーギクの品種育成	24-28	・交配育種により、夏季の高温栽培に適したスプレーギク有望品種を育成する。			

<新>：新規課題 <助>：国庫補助 <委>：国庫委託 <交>：国庫交付金 <受>：受託 <共>：共同研究

部 門	試験研究展開の基本方向	試験研究課題名・細目課題名	研究期間	課 題 内 容 説 明	担 当	要望元	予算区分
農業一般 (作物) (水 稲) (畑 作)	豊かさを支える農林業の強化	7 水稲・畑作物奨励品種決定試験<新>	(28-32)	水稲：作業分散や気象災害の回避のため熟期別、用途別に奨励品種を選定する。 小麦：用途別（麺用、パン用）に栽培適性に優れた奨励品種を選定する。	作物科 (井鍋大祐、白鳥孝太郎)	静岡県稲作研究会他	県単
		7-1 水稲奨励品種決定試験<新>	28-32	・野菜後作における栽培に適した早生～中生熟期の高品質・良食味品種、栽培適性に優れた高品質な酒造好適米品種を重点に選定する。			
		7-2 畑作物奨励品種決定試験<新>	28-32	・地域、年次変動が小さく栽培安定性と多収性に優れた麺用小麦品種と、給食用途のパン適性等に優れた品種を選定する。			
農業一般 (野 菜) (イチゴ) (経 営)	豊かさを支える農林業の強化	8 イチゴ‘きらび香’の安定生産技術の確立	(27-29)	新品種‘きらび香’の円滑な導入普及をすすめるための生産性、品質向上技術の開発と経営モデルの作成、品種保護のための識別技術開発、パッキングセンター効率化のための判別装置の実用化を図る。	野菜科 (井狩徹) 育種科(河田智明、菊池佑弥) 品質商品開発科(池ヶ谷篤) 経営生産システム化(大須賀隆司)	静岡県済連、JA遠州夢咲、JA静岡市	県単
		8-1 生産性向上技術の開発	27-29	・CO2施用等環境制御による生産性向上と土耕における規模拡大のための栽培技術を確立する。			
		8-2 果実品質向上技術の開発	27-29	・低品質果実の発生防止策とCO2施用による食味向上技術を確立する。			
		8-3 パッキングセンターの効率化	27-29	・荷受判別装置の実用性向上と現地実証と併せて導入モデルを作成する。			
		8-4 生産規模別モデルの策定	27-29	・作型別の経営評価により組み合わせモデルを作成し現地実証する。			
		8-5 品種識別技術の開発	27-29	・‘きらび香’の品種識別マーカーを開発するとともに簡易な品種識別方法を開発する。			

<新>：新規課題 <助>：国庫補助 <委>：国庫委託 <交>：国庫交付金 <受>：受託 <共>：共同研究

部 門	試験研究展開の基本方向	試験研究課題名・細目課題名	研究期間	課 題 内 容 説 明	担 当	要望元	予算区分	
農業一般 (野菜) (トマト、イチゴ)	豊かさを支える農林業の強化	9 高品質な大規模施設野菜生産を可能にする生育情報活用型スマートアグリシステムの開発<共>	(27-29)	ビジネス経営体や企業参入の促進により本県の特徴である高品質な野菜生産を持続的に発展させるため、新規就農や参入企業等でも高品質野菜の栽培管理を的確に判断できる生育情報活用型スマートアグリシステムを開発する。	野菜科 (今原淳吾、井狩徹、前島慎一郎、可児裕規)	農芸振興課	県単 (新成長)	
		9-1 環境と植物の生育情報を取得できるセンサおよび無線ネットワークの開発<共>	27-28	・生育情報および環境情報を評価できるマルチセンサ(葉面積程度、日射、温・湿度、窓開度、等)を開発する。	9-1, 2, 3 <共> 農芸振興課、静岡大学情報学部ほか			
		9-2 センサデータの総合的解析による栽培管理の判断に有効な指標の開発<共>	27-28	・マルチセンサ取得データから養水分管理やCO2施用管理に役立つ要因を抽出・解析し、栽培管理に有効な「養水分吸収量」等を推定・評価するためのアルゴリズムを構築する。	9-3 <共> ベルファーム(株)			
		9-3 スマートアグリシステムの現地実証試験<共>	28-29	・開発した新たな管理指標を搭載したスマートアグリシステムを現地農業生産法人等に設置し、システムによる栽培管理の有効性を実証する。				
農業一般 (機械、野菜、経営)	豊かさを支える農林業の強化	10 タマネギ及びレタス栽培の省力機械化システム実用化<共>	(26-28)	タマネギ及びレタスにおける大規模経営を可能とする省力機械化システムの開発と実用化技術を確立する。	経営・生産システム科 (山根俊、山崎成浩、中村浩一、大須賀隆司)	J A とびあ 浜松他、 農業戦略課、 農芸振興課	県単 (新成長)	
		(タマネギ)						
		10-1 セルトレイ育苗技術の実証と改良	26-28	・セルトレイ育苗技術の確立と現地実証を行う。	野菜科 (可児裕規、坂口優子)			
		10-2 収穫機の実証と改良<共>	26-28	・市販化に向けた試作機の改良と性能評価を行う。	土壌環境科 (渥美和彦)			
		10-3 省力的調製、運搬技術の開発<共>	26-28	・自走式調整機の試作と性能評価を行う。	10-2 <共> ヤンマー(株)他、			
		10-4 経営タイプ別機械化システムの提案	26-28	・経営のタイプ別に機械化システム導入効果の試算を行う。	10-3 <共> (株)ニシザワ			
		(レタス)						
		10-5 移植同時植穴施肥技術の実証<共>	27-28	・植穴施肥装置の市販化に向けた現地実証を行う。	10-5 <共> (有沢田機工			
10-6 簡易ハウスを用いた省力安定栽培技術開発	26-28	・簡易ハウスにおける栽培技術の確立と現地実証を行う。	10-7 <共> (株)カワサキ機工					
10-7 収穫機の改良と運搬機の開発<共>	26-28	・4条独立切断機構開発等の開発と現地実証を行う。						
10-8 一斉収穫体系の経営的評価	26-28	・一斉収穫体系の経営的評価を行う。						

<新>: 新規課題 <助>: 国庫補助 <委>: 国庫委託 <交>: 国庫交付金 <受>: 受託 <共>: 共同研究

部 門	試験研究展開の基本方向	試験研究課題名・細目課題名	研究期間	課 題 内 容 説 明	担 当	要望元	予算区分
農業一般 (作物 (畑作))	豊かさを支える農林業の強化	11 小麦作の強害雑草ネズミムギによる被害の把握とその防除技術の確立<新><委><共>	(28-31)	小麦作において低収、品質低下をもたらしているネズミムギの被害をその発生頻度等から予測・査定し、被害を抑制する効果的なほ場管理技術と畦畔などほ場周辺の管理技術を開発する。	作物科 (外山祐介、井鍋大祐) <共> 中遠農林事務所	静岡県中遠稲作研究会	国庫委託 「多収阻害要因の診断法及び対策技術の開発」
		11-1 ネズミムギによる雑草被害を早期に簡易査定できる指標の開発<新><委><共>	28-31	・ネズミムギの発生時期、頻度、生育経過等から小麦に及ぼす被害を予測・査定し、効果的な管理手法を選択する技術を開発する。			
		11-2 ネズミムギを低減するほ場管理技術の開発<新><委><共>	29-31	・ネズミムギを効果的に低減する、耕種的、化学的防除技術を開発する。			
		11-3 ほ場周辺部のネズミムギの効果的な防除技術の開発<新><委><共>	29-31	・ほ場内へネズミムギが侵入する経路となっている畦畔等のほ場周辺部における有効な防除技術を開発する。			
農業一般 (機 械)	豊かさを支える農林業の強化	12 無人航空機による樹園地の超省力・精密生産管理システムの開発<新>	(28-30)	樹園地における無人航空機の利用技術を確立し、樹園地における農作業の省力・軽労働・低コスト化、かつ生産性を高める精密生産管理技術を開発する。	経営・生産システム科 (山根俊、中村浩一)	農芸振興課 ・お茶振興課	県 単 (新成長) 所内連携
		12-1 超省力化技術の開発<新>	28-30	傾斜地の農作業のうち、重労働の農薬散布と施肥における無人航空機の利用技術を開発する。			
農業一般 (機 械)	豊かさを支える農林業の強化	13 キウイフルーツ・ナシ安定生産のための花粉自給率向上に繋がる省力・低コスト花粉採取技術の開発<新><共><委>	(28-30)	花粉の効率的採取法を目指した枝管理技術を開発すると共に、静電風圧式受粉機を開発することで花粉量を削減し、輸入花粉への依存度を下げる。	経営・生産システム科 (山根俊、中村浩一) 果樹研究センター <共> 埼玉県、(国)革新工学研他	静岡県落葉果樹振興協会	国庫委託 (農林水産業・食品産業科学研究推進事業) 所内連携
		13-1 静電風圧式受粉機の開発<新><共>	28-30	花粉量削減に向け、静電風圧式受粉機を開発する。			

<新>:新規課題 <助>:国庫補助 <委>:国庫委託 <交>:国庫交付金 <受>:受託 <共>:共同研究

部 門	試験研究展開の基本方向	試験研究課題名・細目課題名	研究期間	課 題 内 容 説 明	担 当	要望元	予算区分
農業一般 (作物・野菜・花き)	豊かさを支える農林業の強化	14 農作物品種及び生産資材の比較、検定、調査<受>	(28)	試験研究機関として日常的、地域的に対応する事項で、単年度あるいは課題化以前のもので、比較、検定調査が必要となる試験研究の事項について検討する。	土壌環境科 野菜科 作物科	県肥料協会等	受託
		14-1 農作物品種の比較、検定<受>	28	・新発表品種、既存品種・系統、新作物等の検討を行う。			
		14-2 肥料等の効果検定、調査<受>	28	・新開発肥料、土壌改良剤等の検定、調査を行う。			
		14-3 資材機械等の性能調査 <受>	28	・被覆材、新型機械、器具の調査を行う。			
農業一般 (野菜・花き)	豊かさを支える農林業の強化	15 トマトの周年生産における生理障害発生防止技術の確立<新><委><共>	(28-30)	気化冷却や夜冷等の環境管理や養水分管理等によって生理障害の発生を防止し、トマト周年生産の安定化を図る。	野菜科 (前島慎一郎、今原淳吾、坂口優子、可児裕規) 育種科 (本間義之、菊池佑弥)	JA遠州夢咲 JA遠州中央	15-1 国庫委託 (農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業)
		15-1 温・湿度管理による生理障害の発生防止<新><委><共>	28-30	・ Fog&ファン等による高温期の生理障害防止効果を検証し温室の断熱強化を含めた低コスト高温対策技術を確立する。			
		15-2 養水分管理による生理障害の発生防止<新><委><共>	28-30	・ 気象変動や成育ステージに応じた養水分制御による生理障害防止技術を確立する。			
		15-3 統合環境制御における生理障害の発生防止<新><共>	28-30	・ 統合環境制御システムを導入した現地温室における温湿度制御特性を解析し、生理障害の発生防止を図る。			
				15-1<共> 西日本農業研究センター、東京インキ他		15-2 国庫委託 (SIP オミクス利用による新世代栽培技術開発)	
				15-1,3 <共> 中部電力(株)		15-3 県単	
				15-2 <共> 農研機構、理化学研究所、三重農研、愛知農試、静岡大学他			

<新>:新規課題 <助>:国庫補助 <委>:国庫委託 <交>:国庫交付金 <受>:受託 <共>:共同研究

部 門	試験研究展開の基本方向	試験研究課題名・細目課題名	研究期間	課 題 内 容 説 明	担 当	要望元	予算区分
農業一般 (花き)	豊かさを支える農林業の強化	16 夏冬を制する技術開発が花き経営の所得を増加させる<新><委><共>	28-30	昼夜冷房等による夏期の高温対策技術ならびに断熱強化や変夜温管理等による冬期の省エネ対策技術の開発によりガーベラおよびバラの周年安定生産技術を確立する。	花き科 (外岡慎、貫井秀樹、梅田さつき、高橋由美香) <共> 西日本農業研究センター、東京インキ他	静岡県経済連、JAとぴあ浜松 志太榛原農林	国庫委託 (農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業)
		16-1 夏期の高温対策を中心とした生産性向上技術の開発<新><委><共>	28-30	・ミスト&ファン等による昼間の冷房や、新規多層断熱資材による効率的な夜間冷房など夏期の高温対策等による生産性向上技術を開発する。			
		16-2 冬期の省エネ対策技術の開発<新><委><共>	28-30	・新規多層断熱資材による断熱強化や、変夜温管理技術等を検討し、冬期の省エネ対策技術を開発する。			
農業一般 (花き)	豊かさを支える農林業の強化	17 本県特産花きの日持ち向上対策技術の確立<新><共>	28-30	花きの観賞時には高温低湿等の不良環境にさらされることが多々あり、不良環境に対応できる後処理技術を開発する。	花き科 (外岡慎、貫井秀樹、梅田さつき、高橋由美香) 17-2 <共> 県花き市場連合会 静岡市立静岡病院	静岡県経済連、JAとぴあ浜松	県単
		17-1 本県特産花きの前処理技術の開発<新>	28-30	・日持ち技術が確立されていないクルクマの収穫後の取扱方法や、ガーベラの弁反り対策技術等を検討し、本県特産花きの前処理技術を確立する。			
		17-2 本県特産花きの後処理技術の開発<新><共>	28-30	・後処理剤組成の検討や、その応用によるメンテナンスフリー切り花の利用拡大により、高温や低湿度等、劣悪な観賞条件下における日持ち性を確保できる後処理技術を開発する。			
農業一般 (経営) (野菜) (温室メロン、イチゴ)	豊かさを支える農林業の強化	18 ふじのくに農水産物の品質・競争力向上と輸出拡大技術の開発<新><共>	(28-30)	本県の多彩な農水産物(茶、温室メロン、イチゴ、温州ミカン、カツオブシ、キンメダイ等)を対象に、品質・競争力の向上を図るとともに、積極的な輸出拡大を推進するための技術開発を行う。	経営・生産システム科 (大須賀隆司、山崎成浩) 品質・商品開発科 (神谷径明、大場聖司、池ヶ谷篤) 18-1,2 <共> 静岡県経済連、静岡県温室農協、水産技術研究所	マーケティング課、農芸振興課	県単 (新成長)
		18-1 輸出に適合した温室メロン・イチゴの品質・鮮度保持技術の開発<新><共>	29-30	・温室メロンでは、海外の高級志向に適合した温室メロンの熟度・香気制御技術を開発する。イチゴでは、果実がやわらかく衝撃に弱いことから、果実の傷みがない輸送技術と低コストな鮮度・品質保持システムを確立する。			
		18-2 本県産農芸品の輸出振興策の策定と経済性評価<新><共>	28-30	・「ふじのくに農芸品」の中から輸出が期待できる農産物を選択し、嗜好性や消費特性、需要期を解析し、新たな売り込み方法を模索する。また、開発した技術の経済性を評価する。			

<新>:新規課題 <助>:国庫補助 <委>:国庫委託 <交>:国庫交付金 <受>:受託 <共>:共同研究

部 門	試験研究展開の基本方向	試験研究課題名・細目課題名	研究期間	課 題 内 容 説 明	担 当	要望元	予算区分
農業一般 (作物)	住んでよし訪れてよし豊かな農山村づくり	19 蒸気処理防除機の活用による水田の病害虫・雑草等管理技術の確立<共>	(27-29)	蒸気処理防除機を活用し、もみ枯細菌病等の種子および残渣伝染性病害の抑制、スクミリンゴガイ等の防除、有機栽培等における雑草防除、採種圃の異品種混入防止を可能とする革新的な防除技術を確立する。	作物科(井鍋大祐、白鳥孝太郎)	静岡県米麦協会、中遠農林事務所	県単
		19-1 蒸気処理による病害虫・雑草等死滅効果の検証<共>	27-28	・病害虫、雑草種子等に蒸気処理を行い、死滅効果を検証する。	<共> (株)丸文製作所		
		19-2 蒸気処理防除機による病害虫・雑草等管理技術の実証、確立<共>	27-29	・効果的な蒸気処理防除機の活用体系を検討するとともに、水田に蒸気処理防除機を導入して、病害虫・雑草等管理技術を実証、確立する。			
農業一般 (野菜) (病害虫)	住んでよし訪れてよし豊かな農山村づくり	20 施設園芸作物における進化的IPMを構成する要素技術の開発<委><共>	(26-28)	環境の変化に対応した進化的IPMを構築するため、新たな防除手段による要素技術を開発する。	植物保護科 (鈴木幹彦、土井誠、石川隆輔、中野亮平、斎藤千温、片山晴喜)	JA 中央会、JA とびあ浜松、JA 遠州夢咲、温室農協	20-1 国庫委託 (SIPタバコカスミカメ)
		20-1 トマトの天敵利用を核とした黄化葉巻病抑制要素技術の開発<委><共>	26-28	・黄化葉巻病を媒介するタバココナジラミの新たな天敵などの利用による防除法を開発する。			20-2 国庫委託 (SIP視覚イメージ)
		20-2 メロン害虫の光特性と天敵を利用したIPM要素技術の開発<委><共>	26-28	・大型施設で、物理的防除技術として開発が進むLED光と天敵を利用したミナミキイロアザミウマ防除の実用技術を開発する。	20-1 <共> 中央農研、宮崎大他		20-3 国庫委託 (農林水産省委託プロジェクト研究)
		20-3 紫外線の活用によるイチゴ病害虫同時防除を目指したIPM要素技術の開発<委><共>	26-28	・一部病害への効果が確認されている紫外線照射を虫害防除まで対象を広げた汎用技術としての活用を検討する。	20-2 <共> 農研機構・生物機能利用研他		20-4 国庫委託 (SIP感染制御)
		20-4 病害虫抵抗性誘導を活用したIPM要素技術の開発(H26~28)<委><共>	26-28	・ハダニの薬剤抵抗性の実態を解析し、生物的防除法や物理的防除法を取り込んだ薬剤抵抗性発達抑制システムを構築する。	20-3 <共> 京都大、奈良県他		20-5 県単
		20-5 新たに発生したメロン退緑黄化病の伝搬経路の解明と根絶技術の確立	27-28	・養液(水耕)栽培等で殺菌・殺虫剤を代替する防除技術として、植物に対する病害虫抵抗性誘導等の活用を検討する。 ・イチゴ炭疽病の新規防除薬剤を開発する。 ・温室メロンで新たに発生し拡大しつつあるウイルス病(メロン退緑黄化病)を撲滅するため、伝染経路を解明し、根絶技術を確立する。	20-4 <共> 理研、京都大他		

<新>:新規課題 <助>:国庫補助 <委>:国庫委託 <交>:国庫交付金 <受>:受託 <共>:共同研究

部門	試験研究展開の基本方向	試験研究課題名・細目課題名	研究期間	課題内容説明	担当	要望元	予算区分
農業一般 (野菜) (病害虫)	住んでよし訪れてよし豊かな農山村づくり	21 圃場の健康診断に対応したネギ病害虫予防的管理技術の開発 〈新〉〈委〉〈共〉	(28-30)	ネギ属作物において問題となっている土壌病害やアザミウマ等を防止するため、ほ場の土壌病害発生リスクに対応した病害虫の総合的防除マニュアルを開発する。	植物保護科 (鈴木幹彦、斉藤千温、土井誠、石川隆輔、中野亮平、片山晴喜) 土壌環境科 (若澤秀幸、鈴木海平、福島務、渥美和彦) 21-2 〈共〉 農研機構、理化研、群馬県、埼玉県、富山県、三重県、京都府、高知県	中遠農林、西部農林、JAとぴあ 浜松、JA遠州中央	21-1 県単
		21-1 シロネギでの黒腐菌核病発病レベルに対応した予防的防除技術の開発〈新〉	28-30	・既存成果の黒腐菌核病総合防除マニュアル内のリスクごとに使用する防除対策メニューについて、これらの処理効果向上のため土壌管理を含めた総合的防除技術の開発を行なう。			21-2 国庫委託 (SIP有用微生物)
		21-2 葉ネギでの病害虫発生レベルに対応した予防的防除技術の開発 〈新〉〈委〉〈共〉	28-30	・ネギアザミウマ等の害虫の光照射、天敵による防除法の開発と、拮抗微生物を活用した土壌病害防除技術を開発し、総合防除体系を確立する。			
農業一般 (野菜) (病害虫)		22 難防除病害虫の防除効果安定化とイチゴ果実の輸出促進にむけたIPM体系の確立〈新〉〈委〉〈共〉	(28-30)	イチゴのハダニ類やうどんこ病は薬剤防除が困難である。また、海外輸出には相手国の農薬残留基準値をクリアする必要がある。そこで、イチゴにおける減農薬体系を確立する。	植物保護科 (片山晴喜、土井誠、鈴木幹彦、斉藤千温、石川隆輔、中野亮平) 〈共〉 農研機構、宮城県、徳島県、香川県他	静岡県経済連	国庫委託 (革新的技術・緊急展開事業・地域戦略)
		22-1 育苗期における農薬代替技術の確立〈新〉〈委〉〈共〉	28-29	・親株から定植までの苗生産において、難防除病害虫に対する農薬代替技術を確立し、難防除病害虫混入リスクが低い苗生産技術を確立する。			
		22-2 難防除病害虫および輸出に適したイチゴ生産のIPMメニュー化 〈新〉〈委〉〈共〉	28-30	・育苗期の非農薬防除技術に加えて、定植後の生物的、物理的防除、薬剤防除等を体系化し、難防除病害虫対策および生果実輸出に対応したメニュー方式の総合的防除体系を確立する。			
		22-3 輸出に適した難防除病害虫防除体系の現地実証〈新〉〈委〉〈共〉	29-30	・難防除病害虫のIPMの現地実証を行い、防除効果とイチゴ生果実が輸出相手国の残留農薬基準値をクリアするか検証する。			

〈新〉：新規課題 〈助〉：国庫補助 〈委〉：国庫委託 〈交〉：国庫交付金 〈受〉：受託 〈共〉：共同研究

部 門	試験研究展開の基本方向	試験研究課題名・細目課題名	研究期間	課 題 内 容 説 明	担 当	要望元	予算区分
農業一般 (作物・野菜・花き) (病害虫)	住んでよし訪れてよし豊かな農山村づくり	23 新しい農薬の適応選抜<受> 23-1 殺菌、殺虫剤 <受> 23-2 除草剤 <受> 23-3 生育調節剤 <受> 23-4 農薬残留分析試料調製 <受>	(28) 28 28 28	新しい農薬の病害、虫害、雑草等に対する効果の検討及び安全性を検討するための試料調製を行う。 ・環境に及ぼす影響が少ない薬剤について病害虫に対する防除効果、安全な使用法を検討する。 ・農作地の雑草に有効な除草剤を選抜、安全な使用法を検討する。 ・農作物に有効な生育調節剤を選定し、安全な使用法を検討する。 ・環境保全、安全食糧の確保に資するため、農薬安全使用基準策定のための試料を得る。	各 科	JA、植物防疫協会	受託
農業一般 (野菜) (土壌肥料)	住んでよし訪れてよし豊かな農山村づくり	24 牛ふん堆肥ベースの新肥料および土壌中蓄積窒素の活用による効率的施肥管理技術の開発<委><共> 24-1 牛ふん堆肥をベースとした新肥料の製造と利用法の開発<委><共> 24-2 土壌消毒による土壌中窒素無機化量の把握	(27-31) 27-31 27-29	堆肥と化学肥料等を混合して成分調整した新肥料を開発するとともに、土壌消毒時における土壌蓄積窒素の動態を解明し、効率的な施肥管理技術を開発する。 ・牛ふん堆肥と化学肥料等を混合し、葉菜類向けに成分調整した新肥料(混合堆肥複合肥料)の製造条件、肥効調査、栽培実証試験を行い、効率的な施肥管理技術を開発する。 ・施設栽培において堆肥連用により蓄積した土壌中窒素からの、土壌消毒による無機化量を簡易に把握する方法を検討し、施肥窒素量を削減する技術を開発する。	土壌環境科(渥美和彦、福島務、若澤秀幸、鈴木海平) 24-1<共> (株)ホーチアグリ 九州沖縄農研セ他	地域農業課、西部農林	24-1 国庫委託「生産コストの削減に向けた有機質資材の活用技術の開発」 24-2 県単
農業一般 (野菜) (土壌肥料)	住んでよし訪れてよし豊かな農山村づくり	25 分散型エネルギー社会に貢献する小型メタン発酵プラントの開発<共> 25 消化液活用法の開発<共> 25-1 農作物への液肥利用技術<共> 25-2 養液栽培への液肥利用技術<共>	(26-28) 26-28 26-28	食品廃棄物をリサイクルするため、安価で小型のメタン発酵プラントを開発すると共に、メタン発酵消化液の農業への利用技術を開発する。 ・メタン発酵消化液の液肥としての利用技術を開発する。 ・メタン発酵消化液の養液栽培への利用技術を開発する。	土壌環境科(福島務、渥美和彦、若澤秀幸、鈴木海平) 野菜科(坂口優子、前島慎一郎) 25-1,2 <共> 山梨罐詰(株)		県単(新成長) 所間連携

<新>:新規課題 <助>:国庫補助 <委>:国庫委託 <交>:国庫交付金 <受>:受託 <共>:共同研究

部 門	試験研究展開の基本方向	試験研究課題名・細目課題名	研究期間	課 題 内 容 説 明	担 当	要望元	予算区分
農業一般 (作物・野菜・ 花き) (土壌肥料)	住んでよし訪れてよ し豊かな農山村づく り	26 県内主要農耕地の土壌環境及び土壌 炭素モニタリング調査<委>	(26-30)	県内農耕地の土壌群、地目を代表する123定点の土壌環境の 実態を明らかにする。さらに重要定点について土壌炭素量を 営農活動と合わせて調査を行う。加えて、所内の堆肥連用ほ 場(昭和55年設置)において、有機物施用と炭素蓄積様式の関 係を明らかにする。	土壌環境科 (鈴木海平、若 澤秀幸、福島務 、渥美和彦)	静岡経済連	26-1 県単
		26-1 県内主要農耕地の土壌環境モニタ リング調査	26-30	・県内主要農耕地の土壌環境の実態を明らかにする。			26-2 国庫委託「 農地土壌炭 素貯留等基 礎調査事業 」
		26-2 県内主要農耕地の土壌炭素含有量 の実態把握と有機物施用が炭素蓄積 に及ぼす影響<委>	26-30	・県内主要農耕地土壌の炭素含有量の実態を明らかにすると ともに、有機物施用が土壌炭素蓄積に及ぼす影響を明らかに する。			

<新>：新規課題 <助>：国庫補助 <委>：国庫委託 <交>：国庫交付金 <受>：受託 <共>：共同研究

(2) 茶業研究センター

農林技術研究所 茶業研究センター No. 1

部 門	試験研究展開の基本方向	試験研究課題名・細目課題名	研究期間	課 題 内 容 説 明	担 当	要望元	予算区分
茶 業 (商品開発)	「場の力」を活用した 地域経済の活性化	1 ‘茶の都しずおか’を担う「第三の煎茶」 の開発<共> 1-1 安定生産可能な生葉香気発揚技術の 実用化<共> 1-2 既存の煎茶製造ラインを活用した香 気保持技術の確立 1-3 特徴ある香味の視覚化技術の開発 <共>	(26-28) 26-28 26-28 26-28	普通煎茶、深蒸し煎茶に続く、甘い花の香りをもつ煎茶 「第三の煎茶」を開発する。 ・甘い花の香りを発揚させる生葉香気発揚装置を開発す る。 ・発揚させた香気成分ができる限り茶に残る煎茶製造技術 を確立する。 ・普通煎茶、深蒸し煎茶の香りとは異なる甘い花の香りを 消費者に理解してもらうための表示方法を開発する。	商品開発科 (小林利彰、畑 中義生、後藤正、 勝野剛、植松恵 美子) 1-1<共> カワサキ機工(株) 1-3<共> 静岡県立大学	お茶振興課	県 単 (新成長)
茶 業 (栽培) (商品開発)	「場の力」を活用した 地域経済の活性化	2 健康長寿静岡の新たな機能性食品産業 の創出<新> 2-1 本県農林水産物の機能性データベー スの構築<新> 2-2 機能性表示制度を目指した商品開発 <新>	(28-30) 28-30 28-30	本県農林水産物の機能性情報を網羅したデータベース を構築する。また、機能性表示を目指した商品を開発する。 ・茶の機能性成分の含有量、変動等を解明し、データベー ス化する。 ・茶の機能性成分の増強技術を開発し、機能性表示を目指 した商品を開発する。	栽培育種科 (大石哲也) 商品開発科(畑 中義生)	研究開発課	県 単 (新成長) 所内連携
茶 業 (病害虫) (土壌肥料) (商品開発)	「場の力」を活用した 地域経済の活性化	3 ふじのくに農水産物の品質・競争力向上 と輸出拡大技術の開発 <新><共> 3-1 輸出茶(抹茶・有機茶)に対応した病 害虫管理技術の構築と粉末化の実証 3-1-1 被覆栽培における病害虫管理技術 の構築と実証<新> 3-1-2 有機茶に対応した病害虫管理技術の 構築と実証<新> 3-1-3 色鮮やかで商品性の高い抹茶の製造 方法の明確化<新><共>	(28-30) 28-30 28-30 28-30	輸出の拡大が期待される被覆茶や有機茶で、本県に適す る病害虫の防除体系を確立し、その被覆茶から製造した粉 末茶の品質を確認する。 ・二番茶での被覆栽培において、輸出国の残留基準値をク リアするための病害虫防除体系を構築し実証する。 ・有機栽培に対応した病害虫防除体系を構築し実証する。 ・海外輸出向けで商品性の高い抹茶を製造するための粉碎 方法を明らかにする。	生産環境科(小 杉由紀夫、外側 正之、小澤明人、 内山徹、小杉徹) 商品開発科(小 林利彰、勝野剛)	研究開発課	県 単 (新成長) 所内連携

<新>: 新規課題 <助>: 国庫補助 <委>: 国庫委託 <交>: 国庫交付金 <受>: 受託 <共>: 共同研究

農林技術研究所 茶業研究センター No.2

部 門	試験研究展開の基本方向	試験研究課題名・細目課題名	研究期間	課 題 内 容 説 明	担 当	要望元	予算区分
茶 業 (育 種)	豊かさを支える農林業の強化	4 新品種の育成<新><委><共> 4-1 遺伝資源の収集、保存<新> 4-2 変異の拡大<新><委><共>	(28-32) 28-32 28-32	収集、保存された遺伝資源を利用し、香味に優れた市場性が高い品種、耐寒性、耐病・耐虫性の品種を早期に育成する。 ・チャ遺伝資源の収集、保存を図る。 ・人為交配あるいは突然変異等により新しい遺伝子型を作出する。	栽培育種科 (小柳津勤、片井秀幸、池田早希) 4-2<共> 農業生物資源研究所	お茶振興課	県 単 4-2 国庫委託 (SIP)
茶 業 (育 種)	豊かさを支える農林業の強化	5 品種の選定<新> 5-1 奨励品種選定試験<新>	(28-32) 28-32	本県で育成した優良系統と独法や他府県で育成した優良系統等について、生育・収量・品質の特性を比較検討し、静岡県奨励品種としての適性を持った品種を選定する。	栽培育種科 (小柳津勤、片井秀幸、池田早希)	お茶振興課	県 単
茶 業 (育 種)	豊かさを支える農林業の強化	6 チャ育成地育成系統の地域評価試験<委><共>	(26-30)	温暖地育成地で育成された系統について、生育や耐寒性、耐病虫性、収量性、品質等の諸特性を明らかにする。併せて、中山間地における重要病害であるもち病に対する抵抗性を、ほ場発生レベルで明らかにする。	栽培育種科 (小柳津勤、片井秀幸、池田早希) <共> 農研機構果樹茶業研究部門	お茶振興課	国庫委託 (農食研)
茶 業 (育 種)	豊かさを支える農林業の強化	7 品種茶利用促進のための特性解明 7-1 新品種「ゆめするが、しずかおり」の特性評価 7-2 被覆特性評価 7-3 生葉香気発揚特性評価	(27-31) 27-31 27-31 27-31	近年育成した新品種について、品種茶の利用範囲の拡大を図るため、普通煎茶以外の特性を明らかにする。 ・新品種「ゆめするが、しずかおり」に適した蒸度を明らかにする ・おい茶（白葉茶、かぶせ茶、碾茶など）生産のための被覆処理に適した品種を選定する。 ・香り緑茶（静岡型発酵茶、「第三の煎茶」など）生産に適した品種を選定する。	栽培育種科 (片井秀幸、小柳津勤、池田早希)	経済連	県 単

<新>：新規課題 <助>：国庫補助 <委>：国庫委託 <交>：国庫交付金 <受>：受託 <共>：共同研究

部 門	試験研究展開の基本方向	試験研究課題名・細目課題名	研究期間	課 題 内 容 説 明	担 当	要望元	予算区分
茶 業 (病害虫) (栽 培)	豊かさを支える農林業の強化	8 小型無人機による樹園地の超省力化・精密生産管理システムの開発 〈新〉	(28-30)	無人機を利用したセンシング技術を開発し、樹園地の生体情報を効率的に収集および解析する。	生産環境科 (小澤朗人) 栽培育種科 (大石哲也)		県単 (新成長)
		8-2 センシング技術を応用した効率的生体情報収集技術の開発 8-2-3 センシングによるストレス診断の基礎技術開発〈新〉	28-30	・無人機による画像情報に基づき、茶園における病害虫被害や水分ストレスなどのストレス診断技術を開発する。			
茶 業 (栽 培)	豊かさを支える農林業の強化	9 夏季被覆による干ばつ被害防止技術の確立	(26-28)	水利の劣る茶園において、かん水に代替する被覆による干ばつ防止技術を確立する。	栽培育種科 (中野敬之、大石哲也)	経済連	県 単
		9-1 夏季の干ばつがその後の茶樹に及ぼす影響	26-28	・夏季の軽微な干ばつが一番茶の収量、品質に及ぼす影響を明らかにする。			
		9-2 被覆による干ばつ防止技術の開発	26-28	・被覆資材の種類や被覆時期が水分ストレス、葉温上昇、翌年一番茶に及ぼす影響を明らかにし、被覆による干ばつ防止技術を確立する。			
茶 業 (土壌肥料)	豊かさを支える農林業の強化	10 根圏を制御する茶液肥管理技術の確立	(26-28)	液肥量を抑えることで肥料拡散を根圏部分に制御することにより、高品質な茶葉生産と環境にやさしい施肥を同時に実現する茶液肥管理技術を確立する。	生産環境科 (小杉徹、小杉由紀夫)	中遠農林事務所	県 単
		10-1 根圏を制御する茶液肥管理の根圏形成要因の解明	26-28	・液肥管理に適した茶樹の吸収根の根圏形成要因を明らかにする。			
		10-2 根圏を制御する茶液肥管理技術が収量・品質に及ぼす影響	26-28	・液肥の液量、施用回数、濃度が、根圏形成及び収量、品質に及ぼす影響を明らかにする。			
		10-3 現地実証試験	26-28	・根圏を制御する茶液肥管理技術を栽培現地で実証する。			

〈新〉：新規課題 〈助〉：国庫補助 〈委〉：国庫委託 〈交〉：国庫交付金 〈受〉：受託 〈共〉：共同研究

部 門	試験研究展開の基本方向	試験研究課題名・細目課題名	研究期間	課 題 内 容 説 明	担 当	要望元	予算区分
茶 業 (土壌肥料)	豊かさを支える農林業の強化	11 メタン発酵消化液を利用した茶施肥管理技術の開発<新><受>	(28-30)	メタン消化液を液肥の代替とすることで、品質向上、低コスト、環境負荷軽減を同時に実現する施肥管理技術を確立する。	生産環境科 (小杉徹、小杉由紀夫)	鈴与商事株	受託
		11-1 メタン発酵消化液の施用が茶樹に及ぼす影響<新><受>	28-30	・メタン発酵消化液の施用が、茶の収量・品質に与える影響を明らかにする。			
		11-2 メタン発酵消化液の施用が環境に及ぼす影響<新><受>	28-30	・メタン発酵消化液の土壌での窒素挙動及び、環境への影響を明らかにする。			
		11-3 現地実証試験<新><受>	30	・現地での問題点等を明らかとし、普及促進のための基礎資料を得る。			
茶 業 (栽培) (育種)	豊かさを支える農林業の強化	12 被覆茶需要に応える簡易な樹体診断法と効率的被覆作業による高品位安定生産体系の確立<委><共>	(27-29)	急増する被覆茶需要に対応するため、被覆茶樹の診断技術と被覆作業の高効率化技術により被覆茶の安定生産体系を確立する。	栽培育種科 (鈴木利和、片井秀幸、大石哲也)	ハイナン農協	国庫委託 (農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業)
		12-1 茶樹に対する被覆の影響評価手法の高度化および被覆作業の効率化<委><共>	27-29	・強遮光が樹体に及ぼす影響および被覆アタッチメントによる作業性向上効果を明らかにする。			
		12-2 生産現場における樹体診断法および効率的被覆作業体系の確立<委><共>	27-29	・白葉茶生産茶園において樹体診断法と効率的被覆作業体系の現地実証を行う。			
		12-3 被覆茶安定生産マニュアルの作成と経営的評価<委><共>	28-29	・白葉茶の安定生産のためのマニュアルを作成し、技術導入による経営向上効果を明らかにする。			
茶 業 (商品開発)	豊かさを支える農林業の強化	13 発酵茶の品質に関する実態調査及び発酵工程管理支援システムの構築<共>	(26-28)	発酵茶(紅茶)の発酵工程管理支援システムを構築し、県内で生産される発酵茶の品質向上を図る。	商品開発科 (植松恵美子、後藤正、小林利彰、畑中義生、勝野剛)	JA掛川市 (株)寺田製作所	県 単
		13-1 県内発酵茶の品質特性に関する実態調査	26-28	・国産発酵茶の品質特性を調査し、販路開拓とアピールに不可欠な情報を収集する。			
		13-2 発酵工程における香气成分の推移	26-28	・発酵工程における発酵茶の香气発揚と発酵度の関係を明らかにする。			
		13-3 発酵工程管理支援システムの構築<共>	26-28	・これまで経験と勘に頼る発酵度の判断を客観的データに基づき支援する発酵工程管理支援システムを構築する。			

<新>: 新規課題 <助>: 国庫補助 <委>: 国庫委託 <交>: 国庫交付金 <受>: 受託 <共>: 共同研究

部 門	試験研究展開の基本方向	試験研究課題名・細目課題名	研究期間	課 題 内 容 説 明	担 当	要望元	予算区分
茶 業 (病害虫)	住んでよし訪れてよし豊かな農山村づくり	14 ハマキガ類の殺虫剤抵抗性機構の解明と抵抗性診断技術の開発 〈委〉〈交〉〈共〉	(26-30)	ハマキガ類の殺虫剤抵抗性の実態を把握するとともに遺伝子解析により抵抗性機構を解明し、これまでの室内検定に変わる遺伝子解析による抵抗性診断技術を開発する。	生産環境科 (内山徹、小澤朗人)	相良物産	14-1, 3, 4 国庫委託 (委託プロ)
		14-1 殺虫剤抵抗性チャノコカクモンハマキの発生実態把握 〈委〉〈共〉	26-30	・チャノコカクモンハマキにおける殺虫剤抵抗性の実態を把握する。	14-1, 3, 4〈共〉 農業生物資源研究所	14-2 国庫交付金 (食の安全安心交付)	
		14-2 殺虫剤抵抗性チャハマキの発生実態把握 〈交〉	26-30	・チャハマキにおける殺虫剤抵抗性の実態を把握する。			
		14-3 殺虫剤抵抗性機構の解明 〈委〉〈共〉	26-30	・抵抗性遺伝子解析により殺虫剤抵抗性機構を解明する。			
		14-4 殺虫剤抵抗性診断技術の開発 〈委〉〈共〉	26-30	・遺伝子解析による殺虫剤抵抗性診断技術を開発する。			
茶 業 (病害虫)	住んでよし訪れてよし豊かな農山村づくり	15 省力的かつ効率的なチャ病害虫防除技術の確立〈新〉〈交〉	(28-30)	現在の品質を維持しながら、病害虫防除に関する技術の省力化・効率化を実現するための技術を確立する。	生産環境科 (外側正之)	経済連 (株)寺田製作所	国庫交付金 (食の安全安心交付)
		15-1 炭疽病に対する、各種殺菌剤の有効防除期間の解明〈新〉〈交〉		・最近になって登録された新規剤の有効防除期間が明らかになることで、効率的な使用が可能となる。			
		15-2 整枝と薬剤散布を同時に行えるアタッチメントの開発による、輪斑病防除技術の省力化〈新〉〈交〉		・農薬散布量を大幅に削減しても十分な防除効果を上げることが出来るようになる。さらに、薬剤散布に伴う燃料費の削減も可能となる。			
		15-3 耕種的防除法の有無と年間防除体系の組み立て実証〈新〉〈交〉		・銅剤をはじめとする各種予防剤(保護剤)と耕種的防除法を組み合わせた場合の防除効果が明らかになる。			
茶 業 (病害虫) (栽培)	住んでよし訪れてよし豊かな農山村づくり	16 新農薬実用化試験 〈受〉	(28)	日本植物防疫協会等から委託された農薬登録のための効果試験等を行う。	生産環境科 (外側正之、小澤朗人、内山徹)	日植防 日植調	受 託
		16-1 新殺虫剤、殺菌剤の選抜 〈受〉	28		栽培育種科 (大石哲也)		
		16-2 除草剤の選抜 〈受〉					

〈新〉：新規課題 〈助〉：国庫補助 〈委〉：国庫委託 〈交〉：国庫交付金 〈受〉：受託 〈共〉：共同研究

部 門	試験研究展開の基本方向	試験研究課題名・細目課題名	研究期間	課 題 内 容 説 明	担 当	要望元	予算区分
茶 業 (病害虫) (土壌肥料)	住んでよし訪れてよ し豊かな農山村づく り	17 新農薬・新肥料及び新資材等の効果確 認及び使用法の検討<受>	(28)	新農薬、新肥料、新資材等の効果及び効率的な使用方法 を明らかにする。	生産環境科 (小杉由紀夫、 小杉徹、外側正 之、小澤朗人)	肥料協会 日植防	受 託
		17-1 新農薬の使用法の検討 <受>	28	・新規登録農薬の適正な使用方法を検討する。			
		17-2 新肥料の効果の検討 <受>	28	・新肥料の効果と適正な使用方法を検討する。			
		17-3 新資材等の効果の検討<受>	28	・新資材等の有効性を検討する。			

<新>：新規課題 <助>：国庫補助 <委>：国庫委託 <交>：国庫交付金 <受>：受託 <共>：共同研究

部 門	試験研究展開の 基 本 方 向	試験研究課題名・細目課題名	研究期間	課 題 内 容 説 明	担 当	要望元	予算区分
果 樹 (栽培、育種)	豊かさを支える農林 業の強化	3 しずおかオリジナル果樹品種の育成と適 応性検定<新><委><共>	(28-32)	本県の新たな商材として、貯蔵性が高い晩生品種を開発 する。また、温暖な気候において良食味で長期出荷を可能 とする高品質な落葉果樹品種を育成する。	栽培育種科 (中村茂和、吉 川公規、永嶋友 香)	農業経営士 協会果樹部 会	県 単 3-1 国庫委託 (S IP 育種) 3-3 国庫委託 (カンキツ 育種に係る 系統適応 性・特性検 定試験)
		3-1 貯蔵みかん産地しずおかのオリジナル カンキツ品種の開発<新><委><共>	28-32	重イオンビーム照射を主体とした突然変異育種法によ り、効率的な本県オリジナルの品種開発を図る。	落葉果樹科 (橋本望、村上 覚、荒木勇二)		
		3-2 多彩な良食味オリジナル落葉果樹品 種の開発<新>	28-32	多彩な果実を供給するため、食味に優れ、長期出荷等を 備えた新たな落葉果樹品種を開発する必要がある。	3-1<共> 筑波大学他		
		3-3 (国) 果樹茶業研究部門育成果樹系統 適応性検定試験<新><委>	28-32	特色ある果樹産地育成に向け、各産地の気象条件に適応 する高品質な新品種の情報を提供する。			
果 樹 (栽培)	豊かさを支える農林 業の強化	4 カンキツ経営を強化する県オリジナル 品種・系統の安定生産技術の確立	(27-29)	青島温州主体の経営を補完する当センターで育成した 品種・系統について、導入リスクの軽減や生産力を向上さ せるために、安定生産技術の確立を図る。	栽培育種科 (古屋雅司、濱 崎櫻、山家一哲、 中村茂和)	丸浜柑橘農 協連	県 単
		4-1 ‘静丸早生’ のス上がり症状の原因 究明と軽減技術の確立	27-29	現地試作で指摘された「ス上がり果」の発生要因を明ら かにするとともに、対策技術を開発する。			
		4-2 「S1200(1月採り温州)」の安定生産 技術の確立	27-29	初期生育特性を明らかにするとともに、高品質安定生産 に向けた栽培管理技術を確立する。			
		4-3 「静姫(品種登録出願中：3月出荷中 晩柑)」の安定生産技術の確立	27-29	初期生育特性を明らかにするとともに、高品質安定生産 に向けた栽培管理技術を確立する。			
果 樹 (栽培)	豊かさを支える農林 業の強化	5 カキ、キウイフルーツ育成新品種の利用 法の開発<委><共>	(27-29)	育成新品種の早期普及を図るため、利用技術を開発す る。	落葉果樹科 (荒木勇二、村上 覚、橋本望、山 口和希)	落葉果樹振 興協会	県 単 5-1 国庫委託 (革新的技 術開発・緊 急展開事 業)
		5-1 カキわい性台木の利用技術の開発 <委><共>	27-29	カキわい性台木の性質に合わせた台木の茎頂培養苗の早 期育成技術および、早期成園化に向けた優良大苗生産技術 を開発する。	5-1<共>		
		5-2 キウイフルーツ ‘静岡ゴールド(品 種登録出願中)’ の特性を利用した 年末出荷体系の構築	27-29	キウイフルーツ ‘静岡ゴールド(品種登録申請中)’ の追 熟特性および貯蔵性を明らかにすることで年末出荷に向 けた出荷体系を構築する。	(国) 果樹茶業 研究部門他、< 共>浜松市バイ オセンター		

<新>：新規課題 <助>：国庫補助 <委>：国庫委託 <交>：国庫交付金 <受>：受託 <共>：共同研究

部 門	試験研究展開の 基 本 方 向	試験研究課題名・細目課題名	研究期間	課 題 内 容 説 明	担 当	要望元	予算区分
果 樹 (栽培、土壤 肥料、病害 虫)	豊かさを支える農林 業の強化	6 大規模みかん経営を目指した静岡方式 垣根型成園化技術に関する研究<共>	(26-28)	省力化と未収穫期間の短縮、安定多収を確保できる養水分管理法と樹形管理技術の開発及びSDV 耐性台木の選抜を行い、【静岡方式垣根型成園化技術】を構築する。	生産環境科 (中村明弘、影山 智津子、加藤光 弘、土田祐大) 栽培育種科 (古屋雅司、濱 崎櫻、永嶋友香、 吉川公規) 6-3<共> 静岡大学他	農芸振興課	県 単 (新成長)
		6-1 作業省力化可能な垣根型樹形管理技 術の確立	26-28	作業の省力化が可能な垣根型のわい化樹形を作る樹形 管理技術を開発する。			
		6-2 早期成園化のための養水分管理技術の 確立	26-28	未収穫期間を1年短縮する苗木の養水分管理技術を確立 する。			
		6-3 耐性台木を利用した温州萎縮病対策 技術の開発<共>	26-28	SDV 耐性台木系統を選抜するとともに、増殖技術を開発 する。			
果 樹 (栽培、土壤 肥料)	豊かさを支える農林 業の強化	7 カンキツ新樹形における効率的な管理手 法の開発<新><委><共>	(28-32)	省力化と未収穫期間の短縮、安定多収を確保できる養水分管理法と樹形管理技術の開発を構築する。	生産環境科 (中村明弘、影山 智津子) 栽培育種科 (古屋雅司、吉 川公規) <共>(国)果樹茶 業研究部門他	丸浜柑橘農 協連	国庫委託 (革新的技 術開発・緊 急展開事 業)
		7-1 垣根型樹形を形成する省力的な枝梢・ 結実管理技術の開発<新><委><共>	28-32	摘果剤や機械剪定により、作業の省力化が可能な垣根型 のわい化樹形管理技術を開発する。			
		7-2 樹勢維持により安定生産可能な肥培管 理技術の開発<新><委><共>	28-32	液肥管理技術、マルチ被覆などにより、樹勢を維持でき 安定生産可能な肥培管理技術を確立する。			
果 樹 (栽培、土壤 肥料、病害 虫)	豊かさを支える農林 業の強化	8 無人航空機による樹園地の超省力・精密 生産管理システムの開発<新>	(28-30)	樹園地における無人航空機の利用技術を確立し、樹園地 における農作業の省力・軽労働・低コスト化、かつ生産性 を高める精密生産管理技術を開発する。	生産環境科 (増井伸一、影山 智津子、土田祐 大) 栽培育種科 (古屋雅司、吉 川公規)	農芸振興課、 お茶振興課	県 単 (新成長)
		8-1 超省力化技術の開発<新>	28-30	傾斜地の農作業のうち、重労働の農薬散布と施肥におけ る無人航空機の利用技術を開発する。			
		8-2 センシング技術を応用した効率的な生 体情報収集技術の開発<新>	28-30	無人航空機に搭載したカメラにより、モニタリング画像 を空中から迅速に収集してマップ化し、さらに樹体成育 量、ストレス診断の基礎技術を開発する。			
		8-3 無人航空機を活用した産地管理シス テムの構築と樹園地経営モデルの検証 <新>	28-30	空中センシング技術により得られる樹園地別の詳細な 情報を産地全体の生産指導に結びつける手法を共同研究 機関のJA みっかびで試行する。また、無人航空機を実際 の生産現場で使用し、作業効率・コストを検証する。			

<新>：新規課題 <助>：国庫補助 <委>：国庫委託 <交>：国庫交付金 <受>：受託 <共>：共同研究

部 門	試験研究展開の 基 本 方 向	試験研究課題名・細目課題名	研究期間	課 題 内 容 説 明	担 当	要望元	予算区分
果 樹 (栽培)	豊かさを支える農林 業の強化	9 キウイフルーツ・ナシ安定生産のための 花粉自給率向上に繋がる省力・低コスト 花粉採取技術の開発<新><委><共> 9-1 キウイフルーツ花粉の効率的採取技術 の開発<新><委><共> 9-2 静電風圧式受粉機の開発<新><委><共> 9-3 キウイフルーツ、ナシにおける静電風 圧式受粉機の効果確認<新><委><共>	(28-30) 28-30 28-29 28-30	花粉の効率的採取法を目指した枝管理技術を開発する と共に、静電風圧式受粉機を開発することで花粉量を削減 し、輸入花粉への依存度を下げる。 キウイフルーツ花粉の効率的採取に向けた、枝管理技術 および新型花蕾採取機による効率的採取を検討する。 花粉量削減に向け、静電風圧式受粉機を開発する。 キウイフルーツ、ナシにおいて、静電風圧式受粉機利用 による着果率や品質、省力効果等について検討する。	落葉果樹科 (村上覚、荒木勇 二、山口和希、 橋本望) <共> 埼玉県、(国) 革新工学研他	静岡県落葉 果樹振興協 会	国庫委託 (農林水産 業・食品産 業科学研究 推進事業)
果 樹 (栽培)	豊かさを支える農林 業の強化	10 ふじのくに農水産物の品質・競争力 向上と輸出拡大技術の開発<新> 10-1 UV等光照射を中心としたみかんの 腐敗防止技術の開発<新>	(28-30) 28-30	輸出拡大を目指す本県の主要農水産物について、輸出・ 販路拡大上の技術的課題を解決することにより、農水産物 の輸出振興に貢献する。 みかんはアジアやカナダに船便で輸出されているが、コン テナ中での腐敗が問題となっている。そこで、腐敗を防 止できる果実へのUV照射技術等の実用化を図ることによ り、低コストな腐敗防止技術を開発する。	栽培育種科 (中村茂和、 濱崎櫻、山家一 哲、永嶋友香) 生産環境科 (加藤光弘)	マーケティ ング課、農芸 振興課	県 単 (新成長) 所内連携
果 樹 (栽培)	豊かさを支える農林 業の強化	11 温州ミカンの長期鮮度保持技術の実証 <新><委><共> 11-1 GP 剤と青色LED 冷風貯蔵の組合せに よる温州ミカンの鮮度保持技術の実証 <新><委><共> 11-2 温州ミカンの長期鮮度保持技術のマ ニュアル作成<新><委><共>	(28-30) 28-30 29-30	本県の温州ミカンは貯蔵が主力であるが、温暖化により 貯蔵性が低下しているため、貯蔵果実の鮮度保持につい て、従来技術を上回る新しい貯蔵技術を開発する 温州ミカンの腐敗抑制、浮皮防止、品質保持について、 GP 剤と青色LED、冷風貯蔵を組み合わせた技術を実証する。 栽培技術を含めた既存の手法と、新しい貯蔵方法を組み 合わせた体系を確立し、マニュアルを作成する。	栽培育種科 (山家一哲、中 村茂和、吉川公 規) <共> (国)九州沖縄 農研他	マーケティ ング課	国庫委託 (革新的技 術開発・緊 急展開事 業)
果 樹 (病害虫)	住んでよし訪れてよ し豊かな農山村	12 カンキツ園における生物多様性の機能 を活用した害虫管理技術の開発 12-1 生物多様性の機能活用技術の開発 12-2 生物多様性の機能活用技術と既存技 術による体系化	(27-29) 27-28 28-29	カンキツ園が保持する生物多様性の機能を活用して、サ ビダニ、アザミウマ、カイガラムシの管理技術を開発し、 エコファーマー制度に沿ったマニュアル化を行う。 カンキツ園内外の多様な植物により強化される天敵群 集等を活用した害虫密度抑制技術を開発する。 生物多様性機能阻害要因の排除や既存技術との体系化 により、殺虫剤使用低減と効率的害虫管理の両立を図る。	生産環境科 (土田祐大、増井 伸一)	地域農業課	県単

<新>：新規課題 <助>：国庫補助 <委>：国庫委託 <交>：国庫交付金 <受>：受託 <共>：共同研究

部 門	試験研究展開の 基 本 方 向	試験研究課題名・細目課題名	研究期間	課 題 内 容 説 明	担 当	要望元	予算区分
果 樹 (病害虫)	住んでよし訪れてよ し豊かな農山村	13 キウイフルーツかいよう病新系統Psa3 の対策技術の確立<委><共> 13-1 キウイフルーツかいよう病新系統 Psa3による被害状況の把握<委><共> 13-2 新資材による防除体系の確立 <委><共>	(27-29) 27-28 28-29	病原性が強い新系統のキウイフルーツかいよう病 Psa3 の被害実態と、防除体系を確立する。 県内キウイフルーツの、かいよう病の新系統 Psa3 によ る被害状況を調査し、現状を把握する。 化学農薬等による防除法を確立し、病気のまん延を防 ぐ。	生産環境科 (加藤光弘、影 山智津子) 落葉果樹科 (村上覚) <共>(国)果樹茶 業研究部門他	地域農業課	国庫委託 (農林水産 業・食品産 業科学研究 推進事業)
果 樹 (農薬・土壌 肥料)	住んでよし訪れてよ し豊かな農山村	14 生育調節及び病害虫防除等新資材の開 発<受> 14-1 生育調節剤・除草剤等資材利用法の 開発<受> 14-2 殺虫剤・殺菌剤利用法の開発<受>	(28) 28 28	新しい植物生育調節剤および病害虫防除剤等の特性解 明と利用法の開発、害虫防除コストの低減と農薬による危 害防止のための天敵利用技術を開発する。 「安全農薬開発利用委託試験事業」等による、新植物調 節剤、除草剤等資材の効果、薬害及び安全性の解明ととも に高度利用技術を開発。 「安全農薬開発利用委託試験事業」等により、新殺虫剤、 殺菌剤の効果、薬害及び安全性の解明とともに高度利用技 術を開発。	生産環境科 (影山智津子、増 井伸一、中村明 弘、加藤光弘、 土田祐大) 栽培育種科 (古屋雅司) 落葉果樹科 (村上覚、山口和 希、荒木勇二)	植防協会 肥料協会	受託
果 樹 (土壌肥料)	住んでよし訪れてよ し豊かな農山村	15 ヒトと環境に優しい柑橘における年 1 回施肥法の確立 15-1 年 1 回を可能とする効率的施肥法の 解明 15-2 リンの吸収を高める資材活用技術の 解明	(26-28) 26-28 26-28	肥効調節型肥料の利用による施肥回数の削減技術と、土 壌中難溶性リンの有効化技術を活用し、より省力的かつ低 コストである年 1 回施肥法を確立する。 代表的な県内産地土壌において、肥料組成、施肥時期が 肥効持続期間や土壌化学性に及ぼす影響と、連年施用によ る樹体栄養や果実品質等に及ぼす影響を解明する。 クエン酸資材等による難溶性リンの利用程度と、土壌や 果実品質等への影響を解明する。	生産環境科 (中村明弘、土田 祐大)	肥料協会	県 単

<新>：新規課題 <助>：国庫補助 <委>：国庫委託 <交>：国庫交付金 <受>：受託 <共>：共同研究

(4) 伊豆農業研究センター

農林技術研究所 伊豆農業研究センター No.1

部 門	試験研究展開の基本方向	試験研究課題名・細目課題名	研究期間	課 題 内 容 説 明	担 当	要望元	予算区分
伊豆農業 (野菜、花き、 果樹、その他) (栽培育種) (商品開発)	「場の力」を活用した 地域経済の活性化	1 カワツザクラ等新規伊豆特産作物の生産 技術の確立<委><共>	(26-28)	カワツザクラの切り枝、薬用作物、賀茂十一野菜等につ いて、伊豆特産作物としての産地化に向けた生産技術を確 立する。	栽培育種科 (種石始弘、大 住太良) わさび科 (久松 奨) 1-2<共> 農研機構、医薬 健栄研他	河津花卉園 芸組合	県 単 1-2 国庫委託 (農林水産 省委託プロ ジェクト研 究)
		1-1 カワツザクラ切り枝の生産技術確立	26-28	生産方法開発、需要拡大等を総合的に実施し、生産技術 を確立する。			
		1-2 薬用作物の安定生産技術の開発 <委><共>	28	ミシマサイコの初期生育安定化のため、種子発芽促進等 の栽培技術を開発する。			
		1-3 賀茂十一野菜等の生産技術確立	26-28	品目ごと生育に適するほ場条件を考慮し、生産性の高い 栽培技術を開発する。			
伊豆農業 (野菜、果樹、 その他) (商品開発)	「場の力」を活用した 地域経済の活性化	2 健康長寿静岡の新たな機能性食品産業 の創出<新>	(28-30)	本県食品関連産業を活性化し、「ふじのくに静岡の経済 発展」と「健康増進」を推進するため、本県の豊かな農林 水産物が持つ機能性を活かした研究を実施する。	栽培育種科 (浜部直哉、大 住太良、種石始 弘) わさび科 (西島卓也)	経済産業部	県 単 (新成長) 所内連携
		2-1 本県農林水産物の機能性データベー スの構築<新>	28-30	多様な農水産物の機能性情報を網羅したデータベース を構築し、ワサビについては品種別、部位別の機能性成分 の違いを明らかにする。			
伊豆農業 (花 き) (カーネーシ ョン) (育 種)	「場の力」を活用した 地域経済の活性化	3 夏期の高温化に適応したカーネーシ ョン新品種の育成選抜と栽培技術の開発 <新>	(28-32)	高温下で多発する病害に対して抵抗性がある品種を育 成し、高温対策技術を確立する。	栽培育種科 (加藤智恵美、 勝岡弘幸)	JA伊豆太陽	県 単
		3-1 高温抵抗性品種の育成<新>	28-32	交配育種により、高温下での2年切り栽培に適したオリ ジナル品種を育成する			
		3-2 育成品種の2年切り栽培体系の確立 <新>	28-32	高温対策技術を開発し、育成品種の2年切り栽培体系 を確立する。			

<新>: 新規課題 <助>: 国庫補助 <指>: 指定試験 <委>: 国庫委託 <交>: 国庫交付金 <受>: 受託 <共>: 共同研究

部 門	試験研究展開の基本方向	試験研究課題名・細目課題名	研究期間	課 題 内 容 説 明	担 当	要望元	予算区分
伊豆農業 (花 き) (特産花き)	「場の力」を活用した 地域経済の活性化	4 マーガレット新品種育成と伊豆特産花 きの生育特性の解明<新><受> 4-1 鉢物用マーガレットの新品種育成 <新> 4-2 切花用マーガレットの新品種育成 <新> 4-3 伊豆特産花きの生育特性の解明 <受><新>	(28-32) 28-32 28-32 28-32	耐暑性、耐寒性に優れた早生性品種やオリジナル性の高い品種育成と夏期の高温対策技術を開発する。 オリジナル性が高く、耐暑性、耐寒性に優れた早生の新品種を育成する。 有色品種（黄色、桃色）を中心とした早生品種で、採花本数の多い新品種を育成する。 マーガレット、ハナムギ等の夏期の高温対策技術を確立する。	栽培育種科 (勝岡弘幸、加藤智恵美)	静岡県東部 花き流通セ ンター農協、 JA伊豆太陽	県 単 4-3 受託（日本 種苗協会）
伊豆農業 (中晩柑)	「場の力」を活用した 地域経済の活性化	5 伊豆の多様な販売形態に利用できる果 樹品種の選抜<新> 5-1 特産品種開発に向けた果樹品種の選 抜と交雑手法の開発<新> 5-2 多彩な販売形態に利用できる果樹品 種の導入と選抜<新>	(28-32) 28-32 28-32	他機関で育成された品種や既存品種の中で、伊豆地域に適した品種を選抜し、新品種育成のための交雑手法を開発する。 特産品種開発や特色のある果樹品種を育成するため、有望な品種を選抜し、交雑手法を開発する。 国立研究開発法人等が育成した系統や品種について、生育や品質を調査し、伊豆地域に適した品種を選抜する。	栽培育種科 (馬場明子、浜部直哉)	県農業経営 士会果樹部 会	県 単
伊豆農業 (野 菜) (ワサビ) (育 種)	「場の力」を活用した 地域経済の活性化	6 ワサビ新品種育成と系統選抜<新><委>< 共> 6-1 種子繁殖性品種の育成<新> 6-2 栄養繁殖性品種の評価法の確立およ び系統選抜<新> 6-3 育成品種の採種、栽培体系の確立<新> <委><共>	(28-32) 28-32 28-32 28-32	種子繁殖が可能で、揃いが良く安定した生産ができる品種を育成する。 夏季に生育が旺盛な品種を育成する。 栄養繁殖性品種の評価方法を確立し、現地の優良系統を選抜する。 採種・種子保存方法を含めた安定生産のための栽培体系を確立する。	わさび科 (馬場富二夫、 久松 奨、西島 卓也) 6-3<共> 山口県、佐賀県 他	静岡県山葵 組合連合会	県 単 6-3 国庫委託 (革新的技 術開発・緊 急展開事業)

<新>：新規課題 <助>：国庫補助 <指>：指定試験 <委>：国庫委託 <交>：国庫交付金 <受>：受託 <共>：共同研究

部 門	試験研究展開の基本方向	試験研究課題名・細目課題名	研究期間	課 題 内 容 説 明	担 当	要望元	予算区分
伊豆農業 (中晩柑)	豊かさを支える農林業の強化	7 ヒュウガナツ系新品種の導入と生産安定技術の体系化 7-1 早期成園化技術の開発 7-2 高品質安定生産技術の開発 7-3 無核・少核果条件の解明	(27-29) 27-29 27-29 28-29	ヒュウガナツ系新品種の特性を生かし、高糖度や無核果等の高品質果実を早期・安定的に生産するための技術体系を確立する。 仕立て方やかん水同時施肥により、早期成園化技術を開発する。 冷温貯蔵、剪定早期化を組み合わせた高品質安定生産技術を開発する。 受粉樹の種類や設置方法により無核・小核果条件を解明する。	栽培育種科 (浜部直哉、馬場明子)	JA伊豆太陽	県 単
伊豆農業 (中晩柑)	豊かさを支える農林業の強化	8 ワサビ種苗の安定的生産供給体制の確立<新> 8-1 種子繁殖性品種の種苗生産供給技術の開発<新> 8-2 栄養繁殖性品種の苗生産供給技術の開発<新> 8-3 秋季定植苗の安定供給技術の開発<新>	(28-30) 28-30 28-30 28-30	種苗を安定的に周年供給できる生産技術を開発する。 種子繁殖性品種の実生苗生産における種子の発芽率向上技術と育苗期間短縮技術を開発する。 栄養繁殖性品種の二次苗生産における増殖率向上技術を開発する。 夏季高温期の育苗技術及び苗の長期冷蔵技術を開発する。	わさび科 (久松 奨、馬場富二夫、西島卓也)	静岡県山葵組合連合会	県 単
伊豆農業 (野菜) (ワサビ) (花き) (果樹) (病害虫)	住んでよし訪れてよし豊かな農山村づくり	9 農作物品種及び生産資材の比較、検定、調査<受> 9-1 農作物品種の比較、検定<受> 9-2 肥料、農薬等の効果検定、調査<受> 9-3 資材機械等の性能調査<受>	(28) 28 28 28	地域で要望された調査や緊急的な課題について検討する。 新品種、新作物等の特性について検討する。 新しく開発された肥料、農薬等を検定する。 被覆材、新型機械、器具等を調査する。	栽培育種科 わさび科	静岡県山葵組合連合会等	県 単 受 託

<新>：新規課題 <助>：国庫補助 <指>：指定試験 <委>：国庫委託 <交>：国庫交付金 <受>：受託 <共>：共同研究

(5) 森林・林業研究センター

農林技術研究所 森林・林業研究センター No.1

部 門	試験研究展開の基本方向	試験研究課題名・細目課題名	研究期間	課 題 内 容 説 明	担 当	要望元	予算区分
森林・林業 (木材加工)	「場の力」を活用した 地域経済の活性化	1 “森林の都”を実現する県産材の需要と供給の拡大のための技術開発 〈共〉〈委〉	(26-28)	外国産材や非木質材料が主流の外構部材や内装材を県産材製品に転換し、新たな用途開拓を進めるため、消費者ニーズに対応した製品開発や木質空間デザインの提案、IT技術を活用した低コスト原木供給システムの開発を行う。	木材林産科 (渡井純・星川健史・平山賢次・池田潔彦)	林業振興課 地域産業課	県 単 (新成長)
		1-1 ニーズに応じた新たな木製品の開発 〈共〉	26-28	耐久性と寸法安定性に優れた外構材や難燃内装材と針葉樹に適した塗装技術を開発する。	1-1, 2〈共〉 県工業技術研究所・県内企業ほか	1-2 国庫委託 (革新的技術開発・先導)	
		1-2 原木流通スマート化に関する技術開発 〈共〉〈委〉	26-28	原木生産情報の収集及び分析システムや画像処理技術を用いた自動検品システムの開発を行う。 原木の横断面内含水率分布を評価するシステムを開発する。			
森林・林業 (育 種)	豊かさを支える農林業の強化	2 森林・林業再生を加速する静岡型エリートツリーによる次世代省力造林技術の開発	(25-29)	主伐と確実な植林を促進するため、成長やその他の性質に優れるエリートツリーの作出と、コンテナ苗造林技術とを融合した省力的再造林システムを開発する。	森林育成科 (袴田哲司・近藤晃・加藤徹・大場孝裕・山田晋也・猿田けい)	森林整備課 林業振興課	県 単 (新成長)
		2-1 エリートツリーの品種開発	25-29	高成長、高強度、少花粉等の特性を併せ持つスギ優良品種を作出する。	木材林産科 (平山賢次)		
		2-2 コンテナ苗による省力的造林技術の開発	25-29	コンテナ苗生産技術や植栽機械を開発する。また、伐採と一体的に行う更新手法による作業の省力化を検証する。	森林管理署ほか		
森林・林業 (育 種)	豊かさを支える農林業の強化	3 新たな人工交配施設を活用した優良種子生産技術の開発〈新〉	(28-32)	低コスト再造林に対応する高成長、高強度、少花粉の苗木生産に必要な種子供給体制を整備する。	森林育成科 (山田晋也)	森林整備課	県 単
		3-1 特性評価に基づく母樹の選抜〈新〉	28-30	母樹の成長・材質・種子生産能力評価を行い選抜する。			3-2 国庫委託 (農食研プロ)
		3-2 優良種子生産技術の開発〈新〉〈委〉	28-32	新たな手法による人工交配及び早期成園化技術を開発する。			

〈新〉：新規課題 〈助〉：国庫補助 〈指〉：指定試験 〈委〉：国庫委託 〈交〉：国庫交付金 〈受〉：受託 〈共〉：共同研究

部 門	試験研究展開の基本方向	試験研究課題名・細目課題名	研究期間	課 題 内 容 説 明	担 当	要望元	予算区分
森林・林業 (特用林産)	豊かさを支える農林業の強化	4 環境の変化に対応したシイタケ等栽培技術の開発<交>	(24-28)	シイタケ等の生産を取り巻く自然環境や社会環境の変化に対応した栽培技術を開発する。	木材林産科 (山口亮) 森林育成科 (加藤徹)	東部農林 県椎協	国庫交付金 (林業普及 システム化 事業)
		4-1 自然環境の変化に対応した栽培技術の開発<交>	24-28	高温期に安定的に生産する菌床栽培技術及び気象変化に対応した原木栽培技術を開発する。			
		4-2 社会環境の変化に対応した栽培技術の開発<交>	24-28	未利用原木林を活用した省力栽培技術及び栽培に使われていない平坦地を活用した栽培技術を開発する。			
		4-3 原木シイタケの放射能対策技術の開発	24-25	安全に使用できる原木林・ほだ場選別技術や放射性セシウム低減技術を開発する。			
森林・林業 (林業経営・ 林業機械)	豊かさを支える農林業の強化	5 効率的な皆伐等作業システムの構築<新><交>	(28-30)	森林資源を有効利用するため、木材搬出を効率的に行う作業システムについて究明する。	木材林産科 (平山賢次・渡井純)	静岡県森林 組合連合会	国庫交付金 (林業普及 システム化 事業)
		5-1 低コスト皆伐作業システムの構築<新><交>	28-30	車両系・架線系高性能林業機械を使用した皆伐作業システムを調査し、その生産性と生産コストを明らかにする。			
		5-2 低コストバイオマス供給システムの構築<新><交>	28-30	低質材等のバイオマス原料を搬出する際の生産性と生産コストを明らかにする。			
森林・林業 (特用林産・ 森林保護)	住んでよし訪れてよし豊かな農山村	6 シイタケ生産における原木・菌床栽培上及び原木林育成上の害虫対策に関する研究	(25-29)	シイタケ栽培において問題となっている害虫について、栽培法ごとに対策を究明する。また、原木林の脅威となるナラ枯れ対策についても究明する。	森林育成科 (加藤徹) 木材林産科 (山口亮)	森林整備課 林業振興課	県 単
		6-1 シイタケ栽培における害虫の被害対策	25-29	ほだ木のコチャイロコメツキダマシや菌床のキノコバエ類などの害虫対策を解明する。			
		6-2 シイタケ原木のナラ枯れ防除技術の開発	25-29	ナラ枯れを引き起こすカシノナガキクイムシについて分布拡大様式と防除技術の解明を図る。			

<新>：新規課題 <助>：国庫補助 <指>：指定試験 <委>：国庫委託 <交>：国庫交付金 <受>：受託 <共>：共同研究

部 門	試験研究展開の基本方向	試験研究課題名・細目課題名	研究期間	課 題 内 容 説 明	担 当	要望元	予算区分
森林・林業 (森林保全)	住んでよし訪れてよ し豊かな農山村	7 津波に強い多機能海岸防災林に対応した苗木生産と造成管理の技術開発 7-1 多機能海岸防災林へ植栽する種苗生産技術の開発 7-2 多機能海岸防災林の造成技術の開発	(26-30) 26-28 26-30	津波に強い多機能海岸防災林を早期に確実に造成するため、抵抗性クロマツや広葉樹の苗木を大量生産する技術や海岸林造成及び育成管理技術を開発する。 松くい虫抵抗性クロマツのさし木による大量生産技術や海岸に適した広葉樹のコンテナ苗生産技術を開発する。 防潮堤盛土へ海岸防災林を造成する技術や海岸防災林の機能向上を図る育成管理技術を開発する。	森林育成科 (猿田けい・袴田哲司・加藤徹)	森林保全課 西部農林	県 単
森林・林業 (森林保護)	住んでよし訪れてよ し豊かな農山村	8 シカ個体数削減過程で生じる捕獲効率低下の抑制に関する研究<新> 8-1 誘引による捕獲の高効率化に関する研究<新> 8-2 捕獲作業効率低下要因の軽減に関する研究<新>	(28-32) 28-32 28-32	シカ個体数削減過程で起こる、密度低下、捕獲困難地残などによる捕獲効率低下に対して、誘引による捕獲の高効率化、捕獲作業効率低下要因の軽減といった対策を研究する。 様々な誘引物の効果を環境条件も踏まえて検証する。 誘引物・誘引方法と捕獲方法の最適化を行う。 クマ・カモシカの錯誤捕獲軽減・対処技術を開発する。 シカ捕獲個体放置の影響を検証する。	森林育成科 (大場孝裕・小松鷹介)	自然保護課	県 単
森林・林業 (森林保護)	住んでよし訪れてよ し豊かな農山村	9 果樹園での加害獣判別と捕獲技術の確立およびイノシシの成獣捕獲技術の開発<新> 9-1 加害獣調査および捕獲手法の確立<新> 9-2 イノシシ成獣捕獲技術の開発<新>	(28-30) 28-30 28-30	正確な加害獣の調査手法及び捕獲技術の確立を行うとともに、イノシシ成獣を捕獲しやすい箱わなを開発し捕獲方法について検討する。 東部・中部地域果樹園で加害獣を調査する。 中型獣捕獲手法をマニュアル化する。 成獣を捕獲しやすい箱わなを開発する。 成獣を捕獲しやすい餌設置方法を開発する。	森林育成科 (片井祐介・小松鷹介)	地域農業課	県 単

<新>：新規課題 <助>：国庫補助 <指>：指定試験 <委>：国庫委託 <交>：国庫交付金 <受>：受託 <共>：共同研究

6 試験研究関連事業

研究機関	事業名	内容	担当
本所	原々種、原種の育成及び原種の配布	水稻、麦の原々種、原種の育成及び原種の配布	作物科
	採種ほの審査・指導	採種ほの審査・指導	作物科、植物保護科、病虫害防除所
	イチゴのウイルス検定と無病苗の増殖・配布	イチゴ無病苗の原々苗の育成・増殖・配布	育種科
	肥料検査事業	肥料取締法に基づく肥料工場の立入検査と肥料の分析検査	土壌環境科
	植物遺伝資源の保存・管理	有用遺伝資源（種子）の保存・管理	本所
	出願品種選定栽培試験委託事業	登録出願品種（水稻、野菜、花き）の検定	本所
	農林大学学校教育業務	園芸課程学生の教育指導	本所
茶業研究センター	茶園施肥適正化推進事業	茶園の施肥量削減等の推進による環境にやさしい茶栽培体系の確立	生産環境科
	病虫害発生予察事業	基準ほ場での病虫害の発生調査、病虫害防除所に協力し、病虫害発生状況（予察情報）の提供	生産環境科
	農林大学学校教育業務	茶業課程学生の教育指導	茶業研究センター
果樹研究センター	遺伝資源の保存	果樹有用遺伝資源の保存	栽培育種科
	病虫害発生予察事業	病虫害の発生予測と適期防除の推進	生産環境科
	農林大学学校教育業務	果樹課程学生の教育指導	果樹研究センター
伊豆農業研究センター	園芸作物優良種苗の育成・増殖・配布	カーネーション、マーガレットの無病苗の増殖・配布 キヌサヤエンドウの優良系種子の配布	栽培育種科
	優良種苗供給確保事業	柑橘品種（ヒュウガナツ等）のウイルスフリー苗供給	栽培育種科
	わさび生産振興対策事業	ワサビ優良品種の育成、ワサビ関連病虫害防除技術の開発	わさび科

研究機関	事業名	内容	担当
森林・林業研究センター	森の力再生事業効果調査	森の力再生事業における整備効果のモニタリング調査	森林育成科
	抵抗性クロマツ種苗の供給	抵抗性クロマツ苗の生産に必要な種子の生産・供与	森林育成科
	花粉飛散量調査	スギ・ヒノキの雄花の着生調査による花粉飛散量の予測	森林育成科
	松くい虫発生予察調査	松くい虫薬剤散布事業の適期を裏付けるためのマツノマダラカミキリの脱出消長調査	森林育成科
	林業薬剤効果調査	(社)林業薬剤協会の委託を受けた松くい虫防除薬剤の有効性調査	森林育成科
	三保松原のマツ保全指導	三保松原におけるマツ材線虫病の微害化及び老齢大木管理手法の技術的指導	森林育成科 木材林産科
	しずおか優良木材認証審査指導	しずおか優良木材認証工場の工場審査のアドバイス及び技術指導	木材林産科
	農林大学校教育業務	林業課程学生の教育指導	森林・林業研究センター